

徳島エコノミージャーナル

ecoja

8

2016
August
No 442

Tokushima Economy Journal
徳島発信 経済情報誌



CONTENTS

とくしま魅カスポット

港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま

暮らしと88星座

四国大学生生活科学部講師
上野 昇

「私たちのまち、国、未来、この一票」

徳島文理大学総合政策研究科教
徳島県及び高知県参議院合同選挙区
選挙管理委員会委員長
西川 政善

「東京ガスのベトナムでの 取り組みについて」

東京ガス株式会社ハノイ事務所所長
平瀬 裕介

自治随想

徳島文理大学総合政策研究科教
徳島県及び高知県参議院合同選挙区
選挙管理委員会委員長
西川 政善

日出晴夫のITな話

中小企業診断士 日出 晴夫

平井吉信コーナー

中小企業診断士 平井 吉信

ドクター板東の メディカルリサーチ

医学博士 板東 浩

松下幸之助に学ぶ

全国PHP友の会 会友 梶浦 洋一

むかし「局アナ」いま「隠居」

元朝日放送アナウンサー 上田 博章

美術をたのしむ、美術館をたのしむ

徳島県立近代美術館企画交流室長 森 芳功

戦国おもしろ百話

三好長慶会代表 出水 康生

傘寿談議

(株)地域サービス 代表取締役 永井 英彰

生重郎の娛録

書と画 四宮 生重郎

とくしま魅カスポット

徳島県内のキラッと光る商品や技術、場所、人や団体にスポットを当て、創造の現場から発信される声や笑顔、そして、こだわりの品々をレポートします。



小松島みなと交流センターKocolo

港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま

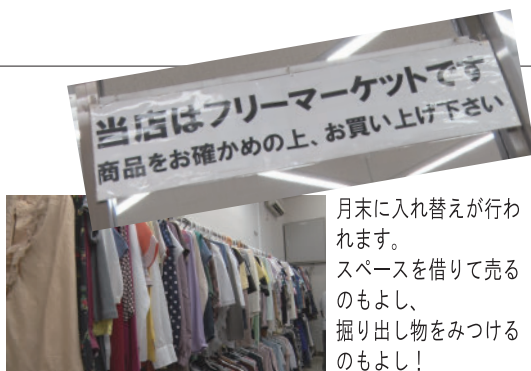
かつて、南海汽船のターミナルビルだったこの場所を広く市民に開放し、更には小松島の活性化に繋がればとの思いから、およそ12年前に設立された団体『港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま』。今回はその活動内容や旧南海フェリーのターミナルビル（現kocolo）についてお話を伺いました。

◆設立したきっかけは？
南海汽船の航路が変わり、徳島市の方に全面的に移ってから、この建物（現kocolo）を市が譲り受けました。年間万人もの利用客があったこの場所に、その当初は、人が全くこなくなっていて、いわゆるゴーストタウンのような状態になっていました。このままではいけない、何とかこの建物を有効利用して地域活性をしていけないかと模索する中、同じような思いを持つ者が集まり、その有志でこの団体を作りました。

◆主にどんな活動を行っていますか？
小松島みなと交流センターkocolo1階部分では、産直市や喫茶店更には県内では最初の屋内フリーマーケット、そして毎月第四土曜日には漁協と協力して海鮮朝市を開くなどを行っています。また、文化講座として、書道や三味線教室、



近隣で作られた農産物が並びます



月末に入れ替えが行われます。スペースを借りて売るのもよし、掘り出し物を見つけるのもよし！

毎週月曜日午後7時頃からは、ハーバー楽団の生演奏をバックに歌いたい人が歌うという機会を作っています。



◆ハーバー楽団は、小松島のイベントにもよく出演していますね
はい、ボランティア楽団なのですが、小松島を活性化させたいという思いは一緒ですね。イベントではもちろんですが、毎週月曜日行っているそのカラオケ大会は大好評で、毎回25名程の方が訪れています。最近では、初めて来たという方も多く、皆さん楽しんで参加していますね。



旬の魚などを使った定食やお弁当も販売されます♪
早めに売り切れるので、お買い求めはお早めに。



NPO法人
港まちづくり
ファンタジーハーバこまつしま
小松島市小松島町新港19
tel.0885-33-0302

○海鮮朝市
毎月第四土曜日午前8時〜※ご確認の上、ご来店ください

○ハーバー楽団の生演奏
毎週月曜日午後7時〜9時半頃まで
(kocolo2階)



あなたも生演奏をバックに歌いませんか？

エコジャホームページでも毎月ピックアップ記事を更新。
下記サイトでご覧いただけます。

<http://www.jctv.ne.jp/ecoja>

知らなきや恥ずかしい！でも意外と知らない！



一人の人物像を詳細に明確化

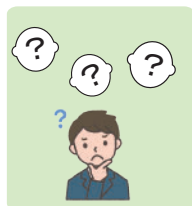
ペルソナ (Persona)

「ペルソナ」とは、自社サービスや製品に対し、架空に作り上げた理想的な顧客像のことです。そのペルソナを中心に考えるマーケティングを「ペルソナマーケティング」と言います。商品やサービスを提供する企業は、ペルソナを作成することによって、ターゲットとなるユーザー像をより明確にし「作りあげたペルソナだったらどのように行動するのか」という顧客視点での決定を行うことで、ペルソナを設定しない状況よりもスムーズに、かつ適した対策を講ずることができます。

【ペルソナの作成方法の流れ】

- ①ユーザーの把握のために、時間や予算等に応じて定性調査と定量調査を組み合わせて実施します。
- ②調査結果を元にユーザーを区分けするのにふさわしいセグメンテーションを切りだして、セグメント分けを行います。同時にどのセグメントに会社として注力するのか、どのセグメントの顧客をターゲットとするのかを決めます。
- ③決定したセグメンテーションに属するユーザー像のペルソナを作成します。ペルソナには名前、写真、特徴があり、プロフィール等を物語形式で書き出します。ペルソナの数が必要なだけ作成します。
- ④作成したペルソナを元にマーケティング戦略を練り、実行に移します。最初に想定したペルソナに対してインバウンドマーケティングを実施していくと、想定とは異なるペルソナが獲得される時もあります。定期的に営業と話し合いながら修正が必要であればペルソナを修正します。

ペルソナを作成するメリットは、一人に絞り込むことで理想的な顧客をイメージしやすくなるため、課題や解決策がイメージしやすくなることです。そして会社全体でターゲットとなるペルソナ像を共有することで、マーケティングと営業は意識を共有できるようになります。

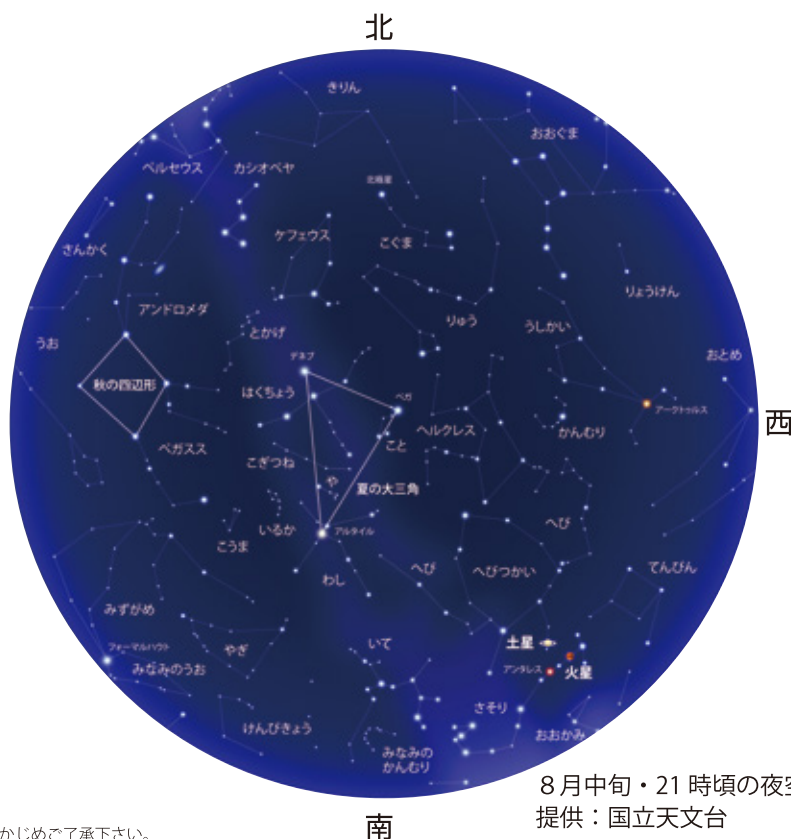


CONTENTS

- 2 **とくしま魅カスポット**
港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま
 - 4 **暮らしと88星座**
四国大学生生活科学部講師
上野 昇
 - 6 **「私たちのまち、国、未来、この一票」**
徳島文理大学総合政策研究科教
徳島県及び高知県参議院合同選挙区
選挙管理委員会委員長
西川 政善
 - 8 **「東京ガスのベトナムでの取り組みについて」**
東京ガス株式会社ハノイ事務所所長
平瀬 裕介
 - 10 **自治随想**
徳島文理大学総合政策研究科教
徳島県及び高知県参議院合同選挙区
選挙管理委員会委員長
西川 政善
 - 12 **日出晴夫のITな話**
中小企業診断士 日出 晴夫
 - 14 **平井吉信コーナー**
中小企業診断士 平井 吉信
 - 16 **ドクター板東のメディカルリサーチ**
医学博士 板東 浩
 - 18 **松下幸之助に学ぶ**
全国PHP友の会 会友 梶浦 洋一
 - 20 **むかし「局アナ」いま「隠居」**
元朝日放送アナウンサー 上田 博章
 - 22 **美術をたのしむ、美術館をたのしむ**
徳島県立近代美術館企画交流室長 森 芳功
 - 24 **戦国おもしろ百話**
三好長慶会代表 出水 康生
 - 28 **傘寿談議**
㈱地域サービス 代表取締役 永井 英彰
- 生重郎の娯録**
書と画 四宮 生重郎

2016 8 月

東



8月中旬・21時頃の夜空
提供：国立天文台

暮らしと88星座



文 上野 昇 (ののちゃん)
四国大学生生活科学科講師

※記載されている事項は、予告なしに変更、または中止されることがありますので、あらかじめご了承下さい。

15 月	14 日	13 土	12 金	11 木	10 水	9 火	8 月	7 日	6 土	5 金	4 木	3 水	2 火	1 月	月
つちのと 七赤先勝	つちのえ 八白赤口	ひのと 九紫大安	ひのえ 一白仏滅	きのと 二黒先負	きのえ 三碧友引	みずのと 四緑先勝	みずのえ 五黄赤口	かのと 六白大安	かのえ 七赤仏滅	つちのと 八白先負	つちのえ 九紫友引	ひのと 一白先勝	ひのえ 二黒大安	きのと 三碧仏滅	新暦・旧暦
み	たつ	う	とら	うし	ね	い	いぬ	とり	さる	ひつじ	うま	み	たつ	う	
旧 7.13	旧 7.12	旧 7.11	旧 7.10	旧 7.9	旧 7.8	旧 7.7	旧 7.6	旧 7.5	旧 7.4	旧 7.3	旧 7.2	旧 7.1	旧 6.30	旧 6.29	
終戦記念日		寒蝉鳴 ひぐらしなく	観測最適 ペルセウス座流星群	山の日 上弦	露地物のすだちが 店頭に並ぶ	道の日 長崎原爆の日 三りんぼう	相生晩茶・阿波晩茶 出始める	立秋 涼風至 すずかぜいたる	広島原爆の日 新町川の屋形船	阿南市など お米の収穫始まる	三りんぼう	各地で川遊びが 盛んになる	水梨・豊水などの ナシが産直に並ぶ	大雨時行 たいうしをきまわごちう	雑節・祝日
												新月			
11日 美馬市花火大会 (美馬市脇町・吉野川河川敷)	11日 選抜阿波おどり大会 前夜祭 (アステイトくしま)	10日 穴喰港祭り (海陽町穴喰・穴喰漁港周辺)	9~11日 鳴門市阿波おどり (鳴門市・中心部特設演舞場)	7日 鳴門市選抜阿波おどり大会 (鳴門市・鳴門市文化会館)	7日 鳴門市納涼花火大会 (鳴門市・撫養川沿い親水公園)	7日 徳島ジャズストリート (徳島市秋田町など)	7日 サマービーチ★コンテスト (徳島市・小松海岸)	7日 穴吹川筏下り大会 (美馬市穴吹町)	6日 妖怪屋敷夏まつり (三好市山城町・道の駅大歩危)	6日 東みよしフェスタ (東みよし町・ぶぶるパーク他)	6日 石井町ふじっこちゃん夏まつり (石井町・OK石井パーク)	5日 吉野川市納涼花火大会 (吉野川市・鴨島運動場)	3日 箸蔵寺夏祭り(箸供養) (三好市池田町・箸蔵寺)	1日 浅川港祭り (海陽町浅川・浅川漁協周辺)	祭・イベント

代表的な88星座の中から、星にまつわるイベントや、暮らしている中で伝わる歳時記などをピックアップしながら、主に徳島のイベント情報を掲載する。四国といえは88ヶ所霊場巡りが有名だが、同じ数の88星座と絡めて、紹介したい。

伝統的七夕

七夕といえば、7月7日。旧暦では毎年異なるが、8月9日が今年の七夕に当たる。天の川を挟んでオリヒメ星(こ座)のベガと、ヒコ星(わし座)のアルタイルが年に一度出会う日とされ、今もロマンチックな伝説として人気の高い歳時記のひとつだ。天文的なこじつけになるが、ちよどカシオペア座が天の川に架かる橋の位置となり、オリヒメと「コボシ」はその橋の真ん中で出会うのだらう。「五色の短冊」に願い事を書いてササに吊るすことは、この吊り橋である5つの星、つまりカシオペア座が願いを叶える重要なポイントかもしれない。

施行記念「山の日」

この夏、8月11日に初めて、祝日「山の日」が施行される。平成26年に制定され、日本の国民の祝日の16番目として新たに加えられる。国民の祝日に関する法律第2条では、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝すること」を意義としているが、山に関する特別な由来はないらしい。ただ、7月に「海の日」があるだけに、山岳ファンにとって、この8月の「山の日」は嬉しい記念日であることには間違いない。剣山・見の越でも「大好き♡剣山」のイベントが開催される予定だ。

阿波おどり

8月9日の鳴門市の阿波おどりをかわきりに、徳島県内だけでなく全国で2拍手のリズムが鳴り響く。下のカレンダールには入っていないが、牟岐町の「姫神祭」や「北島町のひょうたん阿波おどり」など、有名連が踊る阿波おどりは、他にもまだまだある。徳島市内では、12日に、市内下助任町に鎮座する興源寺にて、午前9時より、蜂須賀光隆公(三代)の墓前で有名連が踊りを奉納し、市内中心部の数軒へとくりだす。



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
九紫大安	きのと	二黒先負	みずのえ	四緑先勝	かのえ	つちのと	七赤仏滅	八白先負	九紫友引	きのと	二黒赤口	みずのと	四緑仏滅	かのと	六白友引
とり	さる	ひつじ	うま	み	たつ	う	とら	うし	ね	い	いぬ	とり	さる	ひつじ	うま
旧 7.29	旧 7.28	旧 7.27	旧 7.26	旧 7.25	旧 7.24	旧 7.23	旧 7.22	旧 7.21	旧 7.20	旧 7.19	旧 7.18	旧 7.17	旧 7.16	旧 7.15	旧 7.14

ぶどうの収穫時期が過ぎる頃

蒙霧昇降

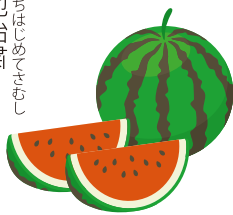
はくちよう座流星群観測できるかも

三りんぼう

処暑
綿村開

鳴門クルマエビの発送始まる

天地始肃



下弦

満月

二百十日

11日	サウンドフェスティバル (徳島市・中央公園 鷺の門広場)
11日	うだつ阿波踊り・花火大会 (美馬市脇町・道の駅他)
11日	「山の日」施行記念イベント 大好き♡剣山 (三好市東祖谷・見の越)
12~15日	徳島市阿波おどり (徳島市中・心街)
13日	ふるさとづくり納涼夏まつり (佐那河内村・中央運動公園)
13日	エキサイティング・サマー・イン・ワジキ (那賀町・大塚製薬徳島ワジキ工場野外ステージ)
13日	三野フェスタ阿波踊り大会 (三好市三野町・河内谷川河川敷)
13~16日	いけだ阿波おどり (三好市池田町中心街)
13・14日	ドイツエスホッフフェスト (鳴門市・ドイツ館)
14日	木頭おどり (那賀町木頭・和無田八幡神社境内)
14日	中里盆踊り大会 (海陽町六喰・角坂山村広場)
14~16日	吉野川阿波おどり大会 (吉野川市鴨島町・駅前中央通り)
14日	かみなか納涼祭 (那賀町・平谷小学校グラウンド)
15日	相生まつり (那賀町延野・相生中学校)
15・16日	貞光夏まつり阿波踊り大会 (つるぎ町貞光・中央商店街)
16日	勝浦の阿波おどり (勝浦町・JA東とくしま勝浦支所)
20日	阿波市納涼祭 (阿波市・吉野支所周辺)

平成28年6月14日/ 小松島西高校

主催：小松島西高校

主権者教育講演会



「私たちのまち、国、未来、この一票」

講師 徳島文理大学総合政策学部(兼総合政策学研究科)教授
徳島県及び高知県参議院合同選挙区選挙管理委員会委員長
西川 政善氏

はじめに

今までは、高等学校で選挙や政治の話をしてはいけなと言われてきました。去年の法律改正によって70年ぶりに改正がなされ、18歳以上の人は、自分たちの考えを、地域や国、さらには世界各地に繋がる政治や行政について考えながら判断して、投票ができることになりました。

選挙について

選挙とは、国会議員や市町村長、市議会委員などの自分たちに代わって政治を行う代表者を有権者の一票一票によって選ぶことです。選んだ人がふさわしくないと判断すれば、次の選挙で辞めさせることもできます。選挙は国民が政治に参加する最大の機会なので、おろそかにしてはいけません。選挙は民主主義の根っこであり、幹でもあり、これほど大事なものはないと意識していただく



い。投票に行くという事は、豊かな暮らしや理想的な世界を建設するための代表者を選ぶということです。自分でしっかりと学んで、考えて、それから判断します。正解はありませんが、最もそれに近い最適解を導かなければなりません。貴重な一票を投じることで、私たちの意見や願いやすくなります。そんな大事な選挙ですが、投票率がどんどん下がっています。徳島県は、全国の中でも一番低い部類に入ります。

年齢別でみる選挙

徳島県の20〜24歳の人は、25%しか選挙に行ってません。70〜74歳までの人を見ると、徳島では60%、全国では72%が選挙に行っています。若い人はなぜ選挙に行かないのか聞いてみると、「政治なんて分からない」、「何を基準に選べばいいのか」「意見が反映されているか」「意見が反映されていないか」「行っても行かなくても一緒」といった意見が出てきます。そ

して最後に「選挙や政治は大人の問題で、自分ではなく両親の問題」と言いました。代替の若い人がこういった印象を持つことによって、あまり選挙に行かなかったのではないかと思います。

これでは若い人の意見が政治の世界に届きません。例えば、年金や福祉の補助政策、健康保険などを手厚くしてほしいという、年配の人の意見が反映されて、若い人たちの意見は反映されなくなる可能性が有ります。投票にもいかず、若者の声も聞こえてこないとなると、現状に満足していると捉えられかねません。これをなんとか改善しようとして、18歳、19歳でも投票できるように法改正がなされました。

こうした流れは、現在世界で本流になっています。世界には192の国と地域がありますがその中で176の国と地域が18歳から投票できる権利を認めています。このように日本で18歳からの選挙を認めて、若い人たちの意見を十分聞かせ

てもらおうということで、素晴らしい改革だと思います。世界中の若い人たちは「選挙は自分に関係ない」とは考えず、若いなりに考えて投票しています。これが世界の大方の選挙に対する姿勢です。中にはアルゼンチンやニカラグアのように16歳からの投票が可能な国まであります。

誰に投票すればいいか

投票するとなれば、どの候補者や政党に投票すればいいのかわからない問題が出てきますが、これは様々な資料に基づいた勉強が必要です。政党や候補者が政策を訴えるので、それらの政策に関する情報を収集します。候補者のポスターや新聞折込などの選挙公報、他にもテレビなどで情報がどんどん出てくるので、それらを見て学びます。この「内容を知る」という行動が大切です。今はインターネットの時代なので、候補者や政党



のHPが見えるようになるので、関心がある人はそれを見て勉強することもできます。

選挙期間に入ると候補者が街頭で演説しているの、足を止め内容を



に耳を傾けて学ぶこともできますし、個人演説会や政見放送などもあるの、見て学び、内容を知った上で自分の頭で考えて、自分の意見としてまとめることが重要です。そして、自分の考え方に近い候補者を選んで、一票を投じます。

小さな市町村議員などでは一票は大きく、開票した時に同数ということがあります。もし票数が同じの場合は、くじ引きで決めます。くじを引く順番をくじ引きで決めて、本番もくじ引きで決めます。自分が持っている一票が大きな力を持っていることを頭に入れておいてください。

投票日は日曜日で用事があるからいけない、という人は、告示になって候補者が出そろった後な

ら期日前の投票ができません。投票は5分もあれば終わります。投票日に都合がつかない人は期日前投票で投票してほしいと思います。私たちの夢や県、国、自分たちの夢多き将来がよい方向に向かうようにするため「若者はこんな考えを持ってま

選挙に学ぶ

昔、阿波藩は小松島の中央会館のあたりから、大坂や東京方面に藍玉を載せた船を送り出していま



現地で様々な衣服に藍が使われて大変な商いになったという歴史があります。私が平成元年に小松島市の市長になるうとした時、小松島をどう変えるかを考えて、港を整備して全国各地にルートを持つと

と考えました。小松島は天然の良港で水深も深いので、国際港を作ってそこから世界の7つの海に結びつく港を作ることが小松島の将来の発展に繋がると考えて、それを公約に掲げて立候補しました

日本の周りには様々な島があります。領土の面積は世界で61番目と大きな国ではありません。しかし領土に沿った海である排他的経済水域を含めれば、世界で6番目の広さを持つ国となります。

排他的経済水域の海底にある様々な資源は、全て日本固有の資源として、他の国に自由にさせないと言う権限を国際条約によって守られています。日本は海洋国家そのもので、日本の海岸線の40km毎にひとつ港湾の停泊地があります。小松島はこういった港湾を中心に発展すべきというのが私の公約でした。

今回の法改正で18歳からの投票が可能になりましたが、それから7、8年経つと、市長や市町村長、市町村議会議員に立

候補できるようになりません。自分が票を入れてもらう被選挙権者の立場になるかもしれないという事も考えておかなければなりません。

18歳というのは、あらゆる可能性の中から持ち味や得意とするものを見つけ出して力を入れていく年代です。そのきっかけ作りの一つが、今回の「投票する権利」です。私は市長をやめて3、4年後に100日かけて世界一周の船旅をしました。



日本の地図では日本は世界の真ん中ですが、外国では真ん中にあった日本列島が東の端になっています。人間は見る立ち位置を変えると頭の中の考え方も変わってきます。決まった考えただけではなく、視野を広げるといふ気持ちを持ってほしいと思います。

選挙の中にはやるべきこととやってはいけない

ことがあります。やってはいけないことをすれば法律に触れます。不正なく堂々と一票を投じて「政策が分からない」「誰に入れたらいいか分からない」ということがないようにしっかりと学んで、知り得た知識を周りの人と分析・ディスカッションをして、自分の気持ちをまとめていくという合意形成の過程を習得してもらいたいと思います。

最後に

古代ギリシアの哲学者、アリストテレスはこんな言葉を残しています。

「その国の、その地域の将来がどうだろうかという事を見たいときは、その国や地域の青年たちを見よ。青年たちの考えや行動に、その国やまちの将来将来像が必ず見えてくるだろう。若者が中心なんだ」

知り、学び、教養を高めることはもちろん大事なことです。その知識を生かして、自分の意見を主張できるように若者になってください。

平成28年5月30日/ホテルクレメント徳島

主催：ハナム省人民委員会

ベトナム・ハナム省セミナー TPPで大きく変わる、ベトナムでのビジネスチャンス

「東京ガスのベトナムでの取り組みについて」



はじめに

現在、東京ガスはベトナムのドンヴァン第3工業団地でのガス供給に關与できないかという事で、検討を進めています。

東京ガスは首都圏を中心に1都6県に都市ガスを供給する事業者です。

昔は家庭用



の販売が主

でしたが、今では工業用のガス供給が増加しています。また、ガスの原料LPGが日本に輸入されていますが、パイプラインを使って希望する会社へ供給をしています。

天然ガス事情

ベトナム北部では、2015年より工場向けの天然ガス供給が行われています。産業用の燃料には、油や液化石油ガスなどがありますが、ベトナムは輸入に頼っているため、国際価格の変動に影響を受け易くなっています。それに対して天然ガスについては全て国産で賄われているので、油

や液化石油ガスと比べて低廉な価格になっています。

また、天然ガスの主成分はメタンですが、他の燃料に比べて、二酸化炭素の排出量が少なく、硫酸化物などは排出されません。

安全性においても、天然ガスは不着火時に除去することが容易で、再着火時の爆発事故リスクが低くなっています。配管等からのガス漏れも、液化石油ガスは空気より重いため下部に滞留しますが、天然ガスは空気よりも軽いので、上方へ拡散され、点火源があっても爆発事故になりにくいです。

天然ガスは価格面・環境面・安全面の全てにおいて優位性のある化石燃料と言えます。

ベトナムでのガス供給

東京ガスでは、ドンヴァン第3工業団地での天然ガスの集中配給を検討中で、ベトナムのタイビン省で生産されたガスを

圧縮して工業団地まで輸送します。工業団地内で天然ガスを減圧し、パイプラインを通じて各工場に天然ガスを供給します。天然ガスの利用により、多様なメリットが見込めます。

①燃料価格

天然ガスは国産で、ベトナムにおける他の液体化石燃料に比べ燃料価格が低い傾向にあります。

②エネルギー管理コスト

気体燃料なのでガスが発生せず、油に比べ簡易なメンテナンスでエネルギー設備を使用できます。他の化石燃料に比べ、環境対策にかけるコストも少なく済みます。

③エネルギー効率

ガスを利用した効率的なエネルギー設備の導入が可能となる上に、他燃料使用の場合に比べて長い間、設備のエネルギー効率が高く維持されます。さらに、集中配給方式によるメリットも多く見込まれます。

④生産効率

燃料タンクが不要になるので、その分の敷地ス

ペースを他の用途に活用できます。さらに、燃料の購入手配、受入れ立会い、残量管理などの作業が不要になります。

②安全性と安定性

エネルギー会社が燃料の管理をするため、燃料管理時などの事故リスクが低減します。エネルギー会社が液化石油ガスをバックアップとしつつ、集中的に工業団地全体の燃料を管理するので、燃料切れのリスクも低減します。

最後に

ベトナムのガスグループも工業団地へのガス供給を行っています。利用している企業の声を聞く、「サービスが日本向けではない」という声が多く、ガスを繋いだら終りというのが現状です。

東京ガスには、今まで日本で培ってきた経験があります。お客様にとつて最適な設備を提案できるので、ぜひともベトナムのビジネスに参入したいと思っています。

(文責・編集部)

最近の県内景況

景気は概ね横ばいで推移

資料提供：財団法人 徳島経済研究所
「徳島経済レポート」より

概況

最近の県内景況をみると、雇用情勢や住宅投資は堅調であり、鉱工業生産や公共投資は前年を上回ったものの、個人消費も前年並みの水準にとどまっており、景気は概ね横ばいで推移している。

鉱工業生産指数

4月の鉱工業生産指数は、117.3(季節調整済)で前月比7.4%の上昇、原指数は前年同月比3.7%上昇となった。その内訳をいうと、上昇したのは全15業種のうち10業種で、はん用・生産用・業務用機械(34.8%増)、金属製品(18.2%増)、化学(15.5%増)などであった。一方、低下した業種は、プラスチック製品(2.9%減)、繊維(1.8%減)などであった。

大型小売店販売額

5月の小売商況は、気温が平年よりかなり高く推移した影響で、夏用の寝具や化粧品、実用衣料などの動きが良かった反面、身の回り品や雑貨、家電などは前年4月に発売されたプレミアム付き地域商品券の反動などから低調だった。

乗用車販売

5月の乗用車販売は、登録台数(軽を含む)は1,712台で前年比1.3%の増となった。内訳は、普通車が515台(前年比15.0%増)、中小型車(5ナンバー・1500cc超)は54台(同37.9%減)、大衆車(1500cc以下)は、498台(17.5%増)、軽は645台(同11.8%減)であった。

企業倒産

5月の企業倒産は1件で、負債総額負債総額は65百万円であった。業種は製造業が1件であった。民事再生手続き開始を申し立てた企業はなかった。帝国データバンクの調査では、0件であった。

消費者物価指数

5月の消費者物価指数は103.3で前年比0.4%低下、生鮮食品を除く総合は103.1で前年比0.3%低下であった。

住宅投資

5月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は、前年比18.0%増の413戸になった。利用関係別では、持家は前年比7.1%増の166戸、貸家は同134.3%増の239戸、分譲は同91.4%減の8戸であった。

公共工事

5月の公共工事(西日本建設業保証徳島支店調べ)をみると、請負金額は100億75百万円で前年比108.5%の増となった。発注者別にみると、「国」は前年比209.0%増、「県」は前年比7.0%増、「市町村」は同122.7%増であった。

雇用関連(求人)

5月の有効求職者数は13,078人で前年比2.5%減、有効求人数は15,567人で同12.8%増加、有効求人倍率(季節調整値)は、1.19倍で前月比0.03ポイント上昇であった。また、新規求人数(一般、パートを除く)では、3,179人で前年比で12.6%増加した。内訳は、情報通信業、サービス業が減少し、製造業、不動産業、物品賃貸業等で増加した。パートの新規求人は前年比26.7%増加の2,442人であった。

雇用関連(勤労統計)

4月の毎月勤労統計(5人以上の事務所)によると、常用雇用労働者(産業計)は101.0で前年比1.2%上昇、現金給与総額(産業計)は91.4で同0.7%上昇、また、所定外労働時間(製造業)指数は120.8で横ばいとなった。

金融

日本銀行徳島事務所によると、4月の民間金融機関貸出残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では10ヶ月連続で前年を上回った。この間、貸出約定平均金利は、前月比低下した。預金については、45ヶ月連続で前年を上回り、前年比0.8%増となった。

自治随想

じちずいそう

Vol. 104

地方回帰、自治の再生のために

— その3 — 住民、自治体サイドから

徳島文理大学総合政策学部(兼総合政策学研究科)教授
徳島県及び高知県参議院合同選挙区選挙管理委員会委員長



西川 政善

ポトムアップの実践

これまで地方の魅力が、つなぐ人の循環、地域資源を活かした新ビジネス創造、大学を活性化の拠点に、といった視点から考察してきた。それぞれに重要な分野であることは論をまたない。その上でさらに重要なことは、活動を展開する現場、地方という空間に住む人々や各種日常活動を営む人々のアクティブな意識改革である。『笛吹けど踊らず』の諺があるが、どんな立派な計画・目標が示されても実行レベルでの実践・志向がなければ、その花や実は伴ってこない。トップダウンに合わせてポトムアップの取り組みが、地方創生成功か否かの肝となる。『ピンチをチャンスへ』切り替え、『ラストチャンスをしつかりキャッチする』、そのために全国各地の住民、自治体がその個性や独自の事情を活かした「おらがまちづくり」に汗を流す姿勢が問われると思うのである。すなわち地方創生や地方自治再生の主人公は住民である、ということだ。

創生の原点

ズバリ、創生の原点は「ふるさとへの誇り」である

う。近年、少子高齢化・過疎化の進行で自治体の力や地域経済力が低下の一途を辿り、地域の住民自治組織も機能不全に陥りつつある。今こそ住民が先頭に立って地域づくりに積極的に取り組み、自治を再生していく時である。その前提となるのは、私たち一人ひとりのふるさとへの誇りだと思われ。特に私のような集団就職・集団進学世代は、高度経済成長期に年間何十万、何百万という規模で東京・大阪など大都市を目指しふるさとを離れてしまった。その後ふるさとへ帰らなかった者も、私のように若い内に回帰し定住した者もあるが、あの頃の異様なまでのふるさと離れ、都市志向の風潮が今日の有様のスタートだとすれば悲しい想いがつのる。最早や老境の身であるが、地域を守る誇りと愛着を若年層に持つてもらい、また他地域からの定住促進につながる取り組みができないものか、といった気もさわぐ。そんな折も折、全国白門市長会(中央大出身市長の会)の会合において北陸地方のメンバーから、福井県鯖江市の女子高校生が「課」というグループをつくり地元商店と提携して地元産品を活か

したスイーツ作りをするなど評判になっていると聞く。そう言えば私のまちの県立小松島西高校校食物科の生徒が「ミニカフェ」を立ち上げ、地元海産物、農産品をふんだんに使って定期的にオープンし、なかなかの評判だ。少し視野を広げると、小中高校の中には地域の課題を学ぶ「課題解決学習」を取り入れ、地域を知り学ぶ、課題を見つけてその解決策を考え判断して、できることから先ず一步を踏み出す試みが見られる。自分のまちが楽しい、おもしろいと感じる地域の力を養うねらいがしっかりと伺える試みである。地域課題を洗い出し解決の方向を探ることが再生への第一歩と考えられるからだ。こう考えてくると、18歳選挙権の実現も、全国約240万人、徳島県下約1万4千人の18・19歳新有権者が、自分の住む地域や未来を考え、学び知ることによって合意形成のための政治的リテラシー(教養)まで高めて判断し、最適解を得て投票するという面から極めて意義が大きい。若者が選挙を通じて政治に参加し、行政と住民、企業、NPOが協働して地域の健康診断を目指す方向性が見つかるといい。

小さな自治の力

大きなまちにも小さな村にも「小さな自治の力」が求められている。「人間は社会的動物である」と言われてきたように、先ず自分のことは自分でやる(自助)、少し大きなことは隣人と手をつないでやる(共助)、さらに大きく経費を出し合って効率的にやる(公助)へと、自治の階段を着実に機能させることを今こそ考え直す時でないだろうか。小さな自治からのスタートである。「小規模多機能自治」という発想である。そのモデルとして報道で知ったのが、島根県雲南市の「地域自主組織」であった。市内に約30ヶ所ぐらいの自主組織を立ち上げ、市から交付金を受け行政サービスを代行する、水道局の検針を担う住民が高齢者の見守り活動もする、商店のない地区では廃校舎を使って食品販売をする、預り保育を手がける等々である。そこには自助・共助・公助の精神が息づき、一定の組織範囲の中で担い手不足を補い、消防団や婦人会、他の町内会や自治組織・福祉団体とも連携して多機能化を図る姿がうかがえる。是非現地を訪問し学びたいものだ。

また、「小規模多機能自治推進ネットワーク会議」が全国約200近い自治体の参加を得て情報共有し連携を始めたとの頼もしい情報もある。

こうした発想や実践は、何も人口減少地域の問題だけではない。高齢化が急速に進み地域コミュニティが低下する都市部にもその萌芽が見られる。まずは防災への取り組みなど何かのキッカケを見出し出して住民同士のつながりを紡ぎ、弱体化する地域コミュニティを再構築する工夫が必要だろう。

小さいこと、足元からの発想が大切だと思うのである。

民主主義の根幹

このように考えてくると、やはり行き着くところは政治についての意識と選挙への対応であろう。70年ぶりに投票年齢が引き下げられ18歳投票が可能となった。そのスタート、第24回参院選挙が実施（7月10日投票）される。

その直前の6月18日、私は日本計画行政学会総会（日本大学経済学部7号館講堂）に参加し、日本における未成年有権者の意識調査結果と分析を知ること



6/18日本大学経済学部7号館講堂にて日本計画行政学会シンポジウム「地方創生政策と人口減少克服」

活と密着していることを理解させる工夫が家庭や学校、社会において必要であろうと指摘する。

次に、66%の学生が投票に行くことと回答しているが、果して実際の投票行動に結びつくかどうかの問題である。一方で、自分の投票で政治が変わると思うとの回答が31.5%にとどまり、1回目だから行ってみよう、2回目も行くかどうか分からないという予測もできさうな気がする。

また投票に行くことと回答した層が3割台にとどまったのは政治不信の影響もあると思われる。過去10年間にあった2度の政権交代を考えてみると、一票の積み重ねで政治は変わることを示したにもかかわらず、その後頻発した政治とカネの問題がその意識を薄れさせたと言えなくもない。

さらに現在の日本のあり方に満足しているかとの問いに、ほぼ90%がNO、支持政党があるとした者が1割に届かなかったことは、若者の考えを受け止めてくれる候補者がおらず、1960年〜70年代にかけての右翼・左翼・資本主義・社会主義といったイデオロギーで分けられない中道化した政党の増加が政党

間の違いを分かりにくくしていると思われる。一歩進めて言うと、政治のあり方に満足できない人が多い中で、特定政党の支持者が少ないという調査結果は、政治不信でなく無党派層の増加と見るべきであろう。つまり、無党派層はその時々政策を見て投票先を考えるので政治への関心はある、逆に強く支持する政党があるとその政党が何をやるかと票を入れるということになる。そうなると無党派であることの意義もあると言えそうだ。

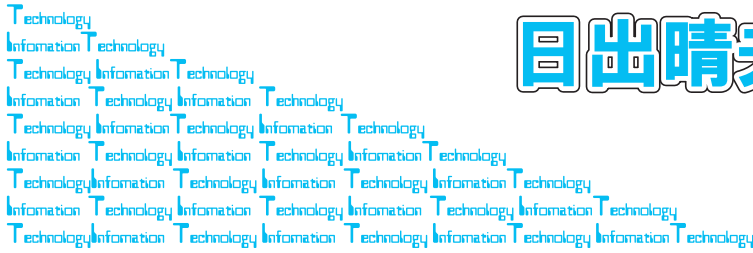
10代新有権者と女性参政70年

6月19日午前0時、改正公職選挙法が施行された。私が4歳の1946年衆院選「25歳以上」から「20歳以上」に引き下げられて以来、70年ぶりに「18歳以上」に引き下げられて実施される。若者の意見をより政治に反映させる狙いがある。あらゆる機会に政治のシステム、選挙の意義を学び、知り、ルールを守って積極的に投票し、郷土や日本の将来、自分たちの未来を指向しなければならぬ。自分自身の問題であるという当事者意識を強く持って参政権を行使しなければならぬ。

さまざまな意見が存在する多様社会の中で唯一無二の解答は難しくても、自分の考えにより近い候補者や政党を判断した上で、責任ある一票を投じてもらいたいものである。

防災対策を重視（建設会社社員19歳）、教育支援体制を整えて（文理大19歳）、立候補年齢も改革望む（美容学生19歳）、経済活性化を重視（高専生18歳）、ゆとりある育児環境を（四国大18歳）、農業後継者育成（農業大18歳）、未来のため意思を示す（高校生17歳）、政策見抜く力養いたい（高校生17歳）、若者向けの支援（徳大18歳）、消費増税の行方見極め（高校生17歳）、安保健案可決に違和感（高校生17歳）等々、新聞紙上に若者の意見が躍る。わが国憲政史上初めての合区選挙については、政治課題に違いがあり残念だ（文理大19歳）とのコメントが目を見つめた。

本稿は第24回参院選公示日直前に書き終えた。「棄権することなく必ず責任ある一票行使」を願って止まない。投票率が気になるところであるが、新有権者を含めて広く国民の政治的リテラシーが示されることに期待したい。



日出晴夫の

ITな話



日出 晴夫

中小企業診断士。阿南市在住

<http://www.facebook.com/haruo.hinode>

盛夏です

暑き日々が続いています。読者の諸兄はいかがお過ごしでしょうか？

阿南市では、幸いにも、本年は、現状、大きな水害被害には遭遇しておりません。幸運に感謝しつつも、いづれ遭遇するであろう、東南海地震の惨禍を思いつつの日々を過ごしております。大自らの脅威には謙虚に、また、悠然と立ち向かいたいものです。

そして、本年も例年どおり、先祖祀りの頃『お盆』の頃が巡ってきます。若かりし頃は、一応、弁証法的唯物論の立場に依拠

していた（していた振り？）もので、お盆の行事は、ややもすると「面倒臭い」ものだったようです。

しかしながら、大事の前には、先祖の墓の前に立ち、大願成就を祈るのが常でした。不思議なもので、その際には、唯物論論争などとは無縁の世界に住んでいたのでしょうか。

お盆の頃には、また、終戦記念日の日程が重なります。例年のNHK、民放の終戦特集が見られることでしょう。本年は特に、憲法改正という大きな課題が私達の眼前に迫ってくる可能性もあります。

思えば、戦後民主主義教育の発展期に青春を過ごし、停滞期に職業生活を開始、衰退期とともに、独立コンサルとなったのが、私の人生だったのでしょう。近年、慣れ親しんだイデオログの皆さんの終焉も見ることが多くなりました。

近日、永六輔、大橋

巨泉、というお二人の訃報を聞きました。イデオログという訳ではありませんが、一定の影響を受けたのも事実です。合掌。残りの人生、悔いのない形で送りたいと思っております。お盆ということでは感傷的な出だしとなりましたが、今後とも宜しくお願ひします。

前向き人生の話

図表①は、近刊の書籍の表紙です。私としては、三冊目の発刊となります。共著ではありませんが、自身の勉学の成果が見えるものとして、数年に二冊の割合にて取り組んでいます。このコラムでも本年二月号にも取り上げていきます。ここでは、やや詳細に紹介させていただきます。



図表①：近刊です。Amazonでも売ってます。

全体主旨

本書の書名は「エネルギーミックス」としています。政府の2016年度の経済産業省の電源構成に関する予算の名称なのです。時代にマッチさせるということ。「エネルギーミックス」の普及に協力する意味においても名称を使わせてもらったのです。

近年異常気象で雨天が多く、台風、竜巻、洪水、さらに地震と災害が相次いでいます。

其の原因は、つまるところ、人間の出す排気ガス「二酸化炭素」による地球温暖化が原因であるといわれています。

私達、中小企業診断士グループは今年の研究テーマとして「エネルギーミックス」をとりあげていたが、内容を突き詰めると、これは「地球温暖化」を食い止めることにつながり、今日の時代に最も適した研究と自信を持って進めてきたのです。

本書はまだ不十分ではあるが、その研究成果の第1段階として取りまとめた報告書という形になっています。

阿南高専、精神的原点

第5章五節のテーマです。

この節にあつては、再生可能エネルギーの一つ、小水力発電事業の徳島県阿南市での具体的事例の紹介をしています。

阿南工業高専は、この事業の歴史的風景画として存在します。

思えば、筆者が、この学窓を出立してより数十年が経過しているのです。この教育制度から巣立った卒業生も着実に社会的地位を獲得しています。チャレンジ精神溢れる取り組みと果敢なアントプレナーシップ精神は、私たち高専OBの原点とも言えるのです。

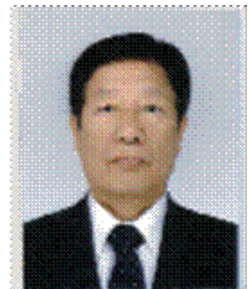
再生可能エネルギー研究会

ここでは、阿南高専での再生エネルギー研究活動について

て紹介しています。
①二人の特命教授



鶴羽 正幸 氏



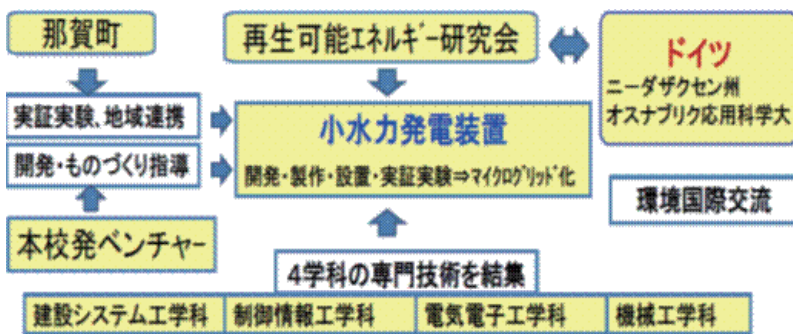
宇野 浩 氏

図表②：二人の特命教授

図表②は、阿南高専特命教授の鶴羽、宇野氏の近影である。お二人とも、阿南高専草創期のメンバーであり、大手民間企業の勤務経験の後、阿南高専の特設講座の担当教授として着任・活動をされておられます。

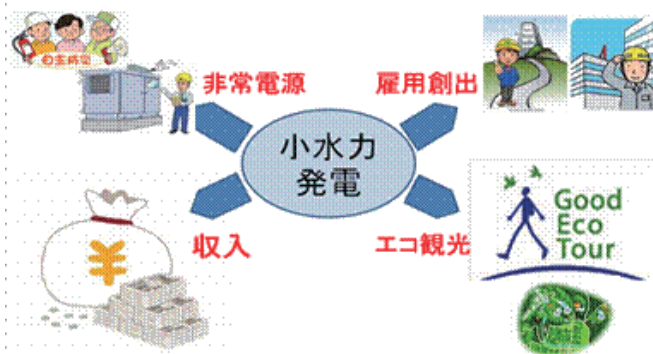
平成23年、お二人を中心として、阿南高専内で再生可能エネルギー研究会(以下、当研究会という)の活動が開始されました。主宰者は、宇野教授でした。鶴羽教授は、メンバーとしての活動を続けることと

なりました。(鶴羽教授は、(株)バンブーケミカル研究所の代表者として、実際の産業機器の開発・販売を継続していくこととなったのです。)
当研究会の活動イメージを次図(図表③)にまとめてみます。
多方面、多彩な活動に着目いただきたい。



図表③：阿南高専再生可能エネルギー研究会活動イメージ図

②小水力発電について(図表④)では、小水力発電についての基本イメージを図式化しました。徒に理想を追うのではなくバランスを持った事業推進が必要ということです。
比較的経済効率が高く成功裏に推移した場合には、



図表④：小水力発電イメージ図

大きな社会的影響力をもたらすことが予想されます。これらの再生エネルギー研究活動がどのようなダイナミックな展開を見せるのでしょうか?以下、次号。

中小企業診断士

平井吉信
コーナー



office空と海
平井 吉信

サービス業での時短（生産性向上）に向けて～その2

【前回までのあらすじ】
時短を求められることが多い業種で生産性向上の着手を行う際の留意点を実例のドラマで考える。登場人物は、時短を迫られている会社S社とS社長、サポートする専門家のA氏、それにS社でプロジェクトに関わる5人のメンバーである。前回は、時短に取り組むことを納得することが導入の留意点として第1回のプロジェクトの会合が始まった。今回はその2回目。

中小企業で時短に取り組むと決意した会社を訪問したAさんのミーティングの場面である。

Aさんは続ける。「まずは、現状を確認してみましょう。これは是非や原因などは類推しなくくていいですから、いま会社で起きている現象について、この場を出してみましよう。1人10件は挙げるつもりで……」。

ひとりが意見を言う。すかさずAさんは、同じ意見、似たような意見は歓迎です。質より量でどんどん出してみましよう。一般にブレインストーミングと呼ばれる意見のあぶり出しであるが、Aさん流には、(1)質より量、(2)誰かの意見を否定しない、(3)継ぎ足しやバリエーション違いも歓迎の3つをルールとしている。自由な発言であるが問題意識、論点を持つことが必要とA氏は途中で解説をほさむ。

問題解決にはいくつかの過程があります。
(1)起きている現象を拾い出す
(2)そこから引き起こされる問題点を具体化する。

(3)原因を特定する
(4)論点を絞りこんで課題を設定する

(5)解決策を考える
以上の流れを例示しますと、

(1)南太平洋の島嶼国では、満潮時の水位が上昇(現象)。
(2)海岸線の浸食によるまちの水没で居住が脅かされている(問題点)。

(3)地球の温暖化による両極の氷の融解で海水面の上昇(原因)
(4)二酸化炭素排出の抑制(課題)

(5)各国に向けての働きかけ(解決策)

これまでのところ、現象の拾い出しが行われましたが、問題点の具体化や原因の特定がなされていません。問題点の検証には客観的な根拠や別途の検証が必要)。

前回は、個々の意識に働きかけるために、終わりの時刻を切つて仕事を進める、という提案が出されました。まずは、やってみる、行動を起こすということ、帰社時間を設定することは意味があると考えます。「判断できないことは実験で検証」が

合言葉です。意識に働きかけて変化を促えるという意味で、本質的な解決策でなくても、まずは取り組んでみるべきでしょう。

小さな成功体験の積み重ねが大切とA氏は発言したあとでさらに続ける。

やってみて、うまくいった、いかなかった、それはなぜ？を考えていくなかで、(2)(3)のあぶり出しを同時並行で進めていけば良いと考えます。

長年の構造的な問題にメスを入れるのですから、数回のミーティングで解決できるとは思えません。みなさんがあきらめず、投げやりにならず、どのような会社で働きたいか、どんな暮らしにしたいかを見失わず、強い意思で取り組んでいくことが求められます。

メンバーの意見は、次々とノートパソコンで打ち出していく。重みや順位は付けられないが、因果関係やグループ分けがしやすいよう、アイデアを羅列と整理するWindowsのアプリケーション「Idea Fragment2」(フリーソフト)を活用してプロジェクトを介してリアルタイムにホワイトボードに投影して共有していく。ホワイトボードにメーカーでももちろん構わないが、あとあと整理して活用するには、この方法が手間がかからないのだとAさんは言う。

(第3回に続く)

県庁だより



徳島県

※市外局番(088)を省略しています

資格・試験

●無線技師採用試験
【とき】9月4日
【ところ】県立防災センター
【対象】陸上特殊無線技士などの有資格者(取得見込み者を含む)
【申込期限】8月12日
【問】県危機管理政策課
(☎ 621-2280、FAX 621-2987)

●県警察官・警察職員採用選考試験
【とき】10月9日
【試験区分】警察官(サイバー犯罪捜査官)、警察職員(航空整備士(回転翼))
【申込期限】8月31日
【問】県警察本部警務課
(☎ 621-2953、FAX 623-7408)

講座・講習

●情報ボランティア講座
【とき・内容】8月28日・デジカメ画像(GIMP)入門[応用編]
【申込期限】8月10日
【問】県立二十一世紀館
(☎ 668-1111、FAX 668-7196)

●フレアキャンパス講座(8月)
▼21日・親子で竹細工教室
▽24、25日・夏休みおもしろ劇場(腹話術・手遊びなど)
【問】ときわプラザ(▼=要申込)
(☎ 655-3911、FAX 626-6189)

募集しています

●女性起業塾の参加者
女性を対象にした創業支援講座(全6回、要申込)
【とき】8月27日、9月10、22日、10月22、30日、12月3日
【申込期限】8月12日
【問】花咲かねーさん企業組合
(☎ 624-7037、FAX 624-7038)

●県立中央テクノスクール訓練生
【訓練科】①事務科 ②ファームオペレーター養成科
【訓練期間】①9月1日～11月30日②9月8日～12月7日
【申込期限】①8月12日②8月18日
【問】県立中央テクノスクール
(☎ 678-4690、FAX 678-4692)

●「とくしま回帰」加速・産業人材支援事業助成候補者
県内で正規職員として一定期間就業後、奨学金返還を支援する制度の助成候補者を募集。
【問】県立総合高等学校本部
(☎ 612-8801、FAX 612-8805)

●県営住宅入居者(8月8、9日受付)
【問】県住宅供給公社
(☎ 666-3125、FAX 666-3126)
県営住宅PF管理センター
(☎ 678-2271、FAX 655-6255)

●戦没者慰霊巡拝参加者(遺族対象)
【内容】マリアナ諸島
【応募期限】8月15日
【問】県地域福祉課
(☎ 621-2170、FAX 621-2839)

●ファシリテーター養成講座受講者
保護者同士が家庭教育の悩みなどを話し合うワークショップの実施を円滑に進めるためのファシリテーター養成講座を実施します。
【問】県教育委員会生涯学習課
(☎ 621-3148、FAX 621-2884)

お知らせ

●宗教法人のみなさまへ
宗教法人は、宗教法人法の規定により、毎会計年度終了後4月以内に事務所備付け書類の写しを所轄庁に提出する義務があります。
【問】県総務課
(☎ 621-2027、FAX 621-2821)

催し

●「マリッサとくしま」オープニングイベント
【とき】7月31日13:20～16:30
【ところ】とくぎんトモニプラザ
【内容】講演「幸せな結婚をしよう」、親向け結婚応援セミナーなど
【対象】未婚、未婚の子を持つ家族、結婚を応援したい企業等
【問】とくしまマリッジサポートセ

ンター準備室
(☎ 656-1002、FAX 656-1008)

●介護のイロハ教室
【とき】8月5日10:00～
【テーマ】力のいらない! 移乗・移動の介助
【問】県介護実習・普及センター
(☎ 642-5113、FAX 642-5003)

●第5回親子で学ぶ! サバイバルキャンプ
【とき】8月20～21日(1泊2日)
【ところ】陸上自衛隊徳島駐屯地
【内容・対象】自衛隊員などから学ぶサバイバル技術・県内在住の小・中学生と保護者
【申込期限】8月10日17:00
【問】県南部総合県民局津波減災部(☎ 0884-74-7273、FAX 0884-77-3851)

ご意見募集

●オープンとくしま・パブリックコメント
◆自動車二税の身体障がい者等に係る減免制度の見直しについて
【応募期限】8月12日
【問】県総務課
(☎ 621-2776、FAX 621-2892)
◆治水・利水等流域水管理条例(仮称)
【応募期限】8月18日
【問】県河川整備課
(☎ 621-2570、FAX 621-2870)

Uターン人材情報

平成28年7月末日現在

問い合わせ先…徳島駅クレメントプラザ5階

とくしまジョブステーション

Tel 088(622)6361

登録番号	希望職種	職歴	資格・免許・経験等	希望勤務地	性別	年齢
------	------	----	-----------	-------	----	----

【営業・販売・サービス業】

2650	営業、調達	営業、生産部等折衝、資材機器販売	大型自免、フォークリフト、小型船舶免許1級	徳島市、鳴門市	男	46
2632	販売、事務	行政での時間外窓口業務、中古書籍・DVDの買取販売	普自免	徳島市、板野郡	男	35
2635	営業職、企画営業職	製造業(非鉄関係)のルート営業	普自免	徳島県内	男	25

【製造業関係】

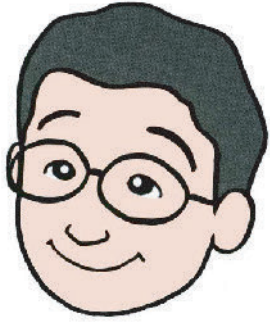
2576	製造業	製造業(電線)、営業、接客業	普自免、調理師	徳島市、阿南市	男	41
------	-----	----------------	---------	---------	---	----

【事務】

2633	事務、製造	製造(オペレーター、外資検査)、PC入力業務	普自免、簿記2級、電卓1級、ワープロ3級、危険物取扱乙種第4類、英検3級	徳島市、小松島市、阿南市	女	25
------	-------	------------------------	--------------------------------------	--------------	---	----

【その他】

2630	防災関連業務、事務、配送ドライバー	配送業、製造ライン・オペレーター、損害保険営業、行政臨時職員	大型自免、防災士、防災関連色宗経験有	美馬市、阿波市、吉野川市	男	54
2637	教育、福祉、スポーツに関わる職務	高齢者への運動指導、公益法人で総務業務	普自免、保健体育教員免許(中学・高校)健康運動指導士、介護職員所初任者研修	徳島市、その周辺	女	27



ドクター板東の メデイカルリサーチ Vol.129

～五輪でも 勝てるスポーツ 心理学～

<http://pianomed-mr.jp/>

ラグビーワールドカップで、日本チームの快進撃は凄かった！ 誰もが驚き、世界のビッグニュースになったことが懐かしい。

かの有名な五郎丸ポーズは、神様に祈りを捧げているわけではない。pre-performance routine という、パフォーマンスの前に行く準備のことだ。

この動作を創り上げたのが、五郎丸選手(図1)とスポーツ心理学の権威・荒木香織先生である。

このたび荒木先生の講演会が徳島で企画され、拝聴できる機会を得た。私の陸上競技の師匠・村上充先生と一緒に参加させて頂くことに(図2)。

今月は、スポーツ心理学について触れてみよう。

日本のスポーツ振興

もうすぐブラジルのリオでオリンピックが開催される。日本選手がエントリーしており、良い結果が期待される。

現在、我が国でスポーツ関係の機関として、代表的

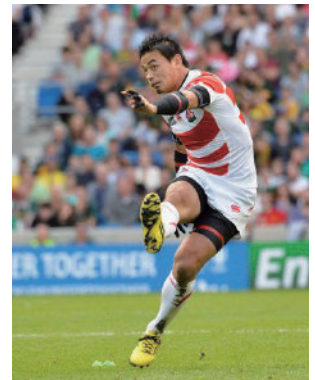


図1

な4組織がある。

①スポーツ庁(JSA)：現在、鈴木大地長官が指揮をとり、斬新な活動が目されている。事業の中に、医学を活用した選手強化への支援がある。

②日本体育協会(JASA)：スポーツの普及振興、国体やスポーツ指導者の育成、マスターズ普及



図2



図3

などが含まれる(図3)。

③日本オリンピック委員会(JOC)：選手強化、強化スタッフの育成・支援、機運の推進など。

④日本スポーツ振興センター(JSC)：スポーツの振興と児童生徒などの健康の保持増進など。

私は日本体育協会認定スポーツドクターであり、毎年開催されるJASAの研修会で学べる機会を楽しみにしてきた。

近年注目されている話

として、世界で広がるドーピングの問題と競技に関わるスポーツ心理学が挙げられよう。

スポーツ心理学とは

かつて、いろいろなスポーツの国際試合で、日本代表選手が、実力があるのに本番で力を発揮できないことが、いろいろな反省から、スポーツ心理学の必要性が叫ばれ、さまざまな研究が行われてきた。

現在では講義やワークショップで学べる機会が増え、今回徳島で開催された「とくしまスポー

2014	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9
1. ボールを回してセット	10	10	10	0	10	10	0	0	10
2. 3歩下がって2歩横へ	10	10	10	0	10	10	0	0	10
3. 蹴った後のイメージ	9	7	9	0	10	10	0	0	10
4. 体重移動	9	6	9	0	9	10	0	0	10
5. Total	9	7	9	0	10	10	0	0	10
6. ヒップコンディショニング	9	5	7	0	10	10	0	0	10

図4

「懇話会」では、スポーツ心理学で知られる荒木香織先生から直接お話を伺うことができた。

先生は高校から大学生のときには短距離陸上選手としてインターハイや国体に出場。その後、ノースカロライナ大学等でスポーツ心理学の研鑽をつみ、博士号を取得し、2012〜15年にラグビー日本代表のメンタルコーチを担当されることに。

ほかに、シンガポールではセーリング代表のアジア大会優勝や北京オリンピック出場、日本では陸上競技全日本中学校選手権優勝や甲子園優勝などがある。

五郎丸選手自身がつけた「評価シート」を図4に示した。漫然と毎日を通じて



荒木さんがいなければ、僕の「ルーティン」は完成しなかった
——五郎丸歩
講談社 新書

図5

る。今や二刀流で、その活躍には驚くばかり。一番バッテリーピッチャー大谷で1球目をホームランしたという歴史

表 メンタルスキルを活用

- 1) 最高のパフォーマンスへ
五郎丸ポーズを日頃の動作も参考にイチョーの緊張、興奮と不安オンとオフをうまく切替える
- 2) 自分に自信をつける
勝つ文化、習慣をつける昔の成功体験は忘れる基準はいま現在に設定認められるのが重要
- 3) 目標を達成するには
単にがんばりますをやめる目標を数段階に整理する期限がないのは無意味初志貫徹、完全主義はダメ
- 4) 悩み困ったときには
プレッシャーはあるものだからストレスは挑戦と考える混乱したら思考停止をミスは忘れ今後を考える
- 5) 受け止め方を考える
失敗とは素晴らしい経験価値観を何に置くのか求めすぎるのをやめるグレーゾーンを設定する

表1

高校生のときに、翔平選手の目標表を知っていたら、どうだろうか？ 少しでも自分の人生が変わっていたかもしれないと思うかも。

自己のメンタル

以上のように、スポーツ心理学について、若干紹介させていた。

心の問題は広くそして深い。メンタルには、冷静な判断や揺れ動く感情などの因子が関わる。つまり、マインドやハート、スピリットの各ファクターが含まれるものだ(図7)。

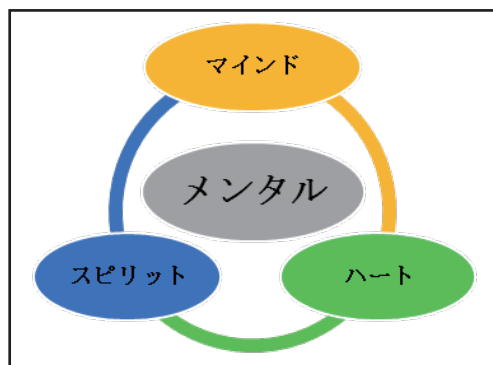


図7

二刀流・大谷選手

プロ野球で、私が大好きで尊敬している選手は、日本ハムの大谷翔平選手である。今や二刀

高校生の頃から、重要な領域を9つ選び、さらに各8個ずつ関連項目を周囲に書き出し、81個の枠目で目標を設定した。その中から4領域・36個を図6に示したので熟読してみてください。もし読者が

はっきりとした目標、目的をもつ	一言一葉しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ
ピンチに強い	メンタル	勇気よく涙を流さない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h
姿をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	富井さんへの態度
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む

図6

もうすぐリオ五輪が始まる。しばらくの間、テレビの前で深夜まで応援し、寝不足の日が続くそう。超アスリートの体力・技術・心理面の総合力を画面でじっくり楽しめる。

かつて、日本選手は期待やプレッシャーに押しつぶされることも。しかし、近頃では「メントレ」の研修も受け、本番で伸び伸びとした活躍が期待できる。各選手には、メダルを目指し、頑張ってください。

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)

松下幸之助に学ぶ!!

『繁栄への道』

第三回

文・全国PHP友の会

会友 梶浦 洋一

(徳島PHP友の会顧問)

(H/PPHAG&

『菜根譚の会』世話人)

先日の参院選挙は、18歳以上の人々が折角、有権者になれたのに、低い投票率であった。選挙結果は、与党(自民党・公明党)が勝利し、結局、憲法改正の発議可能

な議席数3分の2を衆参両院で確保し得た。経済面では、デフレからの脱却を目指す『アベノミクス』の成果はいまだ乏しい。加えて英国のEU離脱問題



が惹起されたことによる経済的不安定? 化の影響も懸念されている。さらに、海外ではフランスでのトラック暴走テロ事件やトルコでの軍によるクーデター未遂事件の発生など、慌ただしい。わが国も内政外交ともに多事多端である。安倍内閣では景気浮揚を図るための活動財源確保で28兆円超規模の措置をするために、国債の発行も辞さない姿勢?で、財務省や日銀・財界にも異例の協力要請を出した。内閣改造も図り、臨時国会の召集に臨むようである。

また、懸案の多い東京都知事選挙では数多の候補者

が乱立して鎬を削った。事ここに至っては国政、都政ともに腰を据えて、行政の充実を図りつつ政治の改革を推し進めねばなるまい。党利党略に現を抜かしている時ではない。さて、本題に入ろう。

『平和を求めて…』

先月号まで『どうすれば幸せに生きられるのか』を論じ合われた青木・佐藤両氏の結論は、
【原理原則に従い、天から与えられた天分を存分に発揮して、自分も周りからも認められる幸せを手にする】
ことである、としている。

そして次は、
『どうすれば平和に生きられるのか』を課題として話を進めている。
平和の原点は、一口でいうと自分がされて嫌なことを人にしないこと、であるという。そこで、

青木社長は問う。
「次に平和について見ていきたいのですが、幸之助さんが残した言葉には『平和』に

関する直接的な文言が少ないように思います。これは何か理由がありますか。」
佐藤専務は答えた。

「幸之助は昭和二年二月、PHP研究所を創設してPHP活動を開始しました。PHPとは「peace and Happiness through prosperity」の頭文字で、物心両面の繁栄によって平和と幸福をもたらそう」という意味です。万物の霊長である人間には原則として繁栄、平和、幸福が与えられているはずだ、というのが幸之助の考え方で、PHPはその考えに基づいて命名されています。

この三つの言葉に関しては、幸之助の言葉として、『繁栄の基』とか、『平和の意義』とか、『幸福の意義』といったものはあるのですが、おっしゃるようには一番少ないのが平和に関する言葉です。幸之助にとつて平和はむしろもう自明のこととして、あえていわなかったのかもしれない。

ただ、静的平和ではなく

く、動的平和を、あるいは死的平和ではなく、活的平和を、といったことはいっています。何もなくて静かな平和ではなく、生成発展、日々新たに活性化されたダイナミックな状態の平和がいいということですよ。」

青木社長

「たとえば戦争について何かおっしゃっていることはありますか。」

佐藤専務

「PHPを始めたのが、敗戦で日本が灰燼に帰して悲惨な状態にあったときですから、そういった戦争はなさなければいけないということと、PHPのpeaceが出てきたのだと思います。ただ戦争そのものについてはそれほど言及していません。」

青木社長

「松下電器は戦争中、戦争に協力したとみなされ、GHQからさまざまな制限を受けています。それに対してどう思われていたのでしょうか。」

佐藤専務

「戦争中は国に協力を求め

られれば、拒否できる状況ではありません。松下電器は家電メーカーですから、本当は民生用の業者です。それなのに、軍から船をつくらせてくれとか、飛行機をつくらせてくれといわれた。当然松下の守備範囲外で、幸之助は何度も断ったのですが、軍からの圧力もあって、やむなく船を五六隻つくりました。飛行機も三機つくって、機体はベニヤ板だったそうですが、何とか飛ばすことに成功します。東大阪の方に滑走路をつくって、セメントもありませんから、しつこいで固めたりして、非常に苦労したといえます。」

しかもお金は後から支払われるという約束で、船も飛行機も全部自腹で製造しているんですよ。戦前は二〇〇万円（現在の価値で一〇〇億円弱）の個人資産があったのに、戦後には七〇〇万円（現在の三〇億円）のマイナスになった。そこまでしたのに、結局、お金は支払われず、GHQからはならまれて、七つの制限を受ける

ことになったのです。さて、七つの制限とは、

戦後GHQが課した幸之助と松下電器に対する指令のことで、左記の通り

- ① 制限会社の指定
- ② 財閥家族の指定
- ③ 八工場が賠償工場の指定
- ④ 軍需補償の打ち切り、特別経理会社の指定
- ⑤ 公職追放の指定
- ⑥ 持ち株会社の指定
- ⑦ 集中排除法の適用

これにより松下電器は生産活動が事実上ストップし、戦後数年間は苦難の時を送る。

青木社長

「企業活動は一切できなくなりですね。それでも国を恨むことはなかったのでしょうか。」

佐藤専務

「国を恨むよりも幸之助は自分自身を反省しています。本当に国からの要請を断れなかったのか。心の片隅に、『俺がやらなきゃ誰がやるんだ』という血気にはやった気持ちがあったのではないかと。」

と。

戦後は辛酸をなめる形になって、かなりやけ酒を飲んだということを幸之助の一人娘の幸子さまからうかがいました。毎晩ジヨ三黒が一本あいてしまうので、むめの奥さまが心配して、アルコール度数の低い日本酒に替えたとのことです。」

青木社長

「松下電器を取り巻く状況が劇的に変化したわけですが、そのせいにするのではなく、自分の本来あるべき姿からはずれてしまった、と幸之助さんは反省したわけですね。」

佐藤専務

「たしかに自分の姿勢については反省しました。でも一方で、経営判断をやまなかったわけではない、ともいっています。どんなに経営者が正しく判断して正しい経営をしても、国の政治がおかしくなったら、企業の努力は水泡に帰してしまふ。だから戦後は片手に経営、片手に政治というつもりで、政治はどうあるべきかという

ことを、経営者もほとんど発言していかなければいけない、と強く思うようになりました。」

つまり政治をよくしたいということが、PHP活動を始めた理由の一つだったので。もう一つは、万物の霊長といわれている人間がなぜこんなに悲惨な目に合うのかという憤りもありました。人間には原則として繁栄、平和、幸福が与えられているはずだ。それなのにそうならないのは、お互い人間が正しい生き方、考え方をしていないからではないかと考えたわけです。」

そして自分は二介の電気屋の経営者に過ぎないが、たくさん人の知恵、すなわち衆知を集めていけば、繁栄、平和、幸福に通じる道を見つけ出せるに違いないと考えました。それを実現するためにPHP研究所を創設し、世と人の繁栄、平和、幸福実現への道を模索する本格的な活動に入るわけです。」

(つづく)

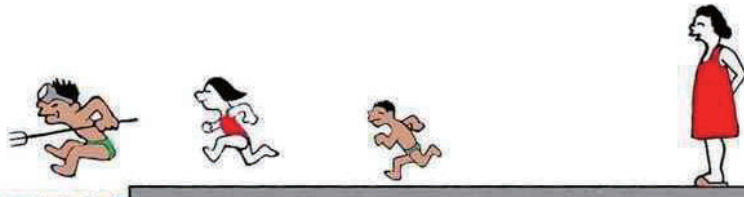
むか「局アナ」いま「隠居」

ウニ アワビ サザエ



上田 博章(絵・文)

1933年徳島市生まれ 大阪府在住
 ■京都大学農学部林学科卒業
 ■元朝日放送アナウンサー
 ■元池田マルチメディア代表取締役
 ■講演、朗読指導など以外は隠居中



今なら「密漁」ですが、ウチの子が小学生だった頃、つまり、一九七〇年代は、まだ大らかなものでした。土地勘もないド素人の海水浴客が素潜りでウニやサザエ、アワビなど獲れるわけがありませんし、例え獲れたとしても、その量は多寡が知れています。きつと大目に見てくれていたのでしょう。私もド素人の一人ですが、中学校から高校にかけて、水泳部に在籍し、平泳ぎをやっていたのです。「用意ドン」で25メートルは潜るのが当り前だったので、肺活量が五千三百CCあった私は比較的長く潜れました。ですから、子供を連れて海水浴に行くときは、必ずゴーグルと金突き(ヤス)を持参して岩場をウロチョロ潜っていたのですが、所詮ド素人：自慢できるような手柄話はありません。強いて言えば 一度だけアワビを獲ったことがあるのと サザエを2個、ウニも10数個 拾ったことがある程度です。

子供が小さかったころ、日本海側の海へ泳ぎに行く人は少なかったと思います。ですから、岩場で潜ると「紫ウニ」が海底の至る所に転がっていました。「紫ウニは食用じゃない」「紫ウニには毒がある」と子供のころから聞いていましたので、「紫ウニはアカン」と諦めていたのです。しかし、これは間違いで、毒を持つウニ「ガンガゼ」と、「紫ウニ」がよく似ていることから、事故を防ぐためだったのか、もしかすると漁業資源を守るためのデマだったのかもしれない。そうとも知らず紫ウニを横目で眺めながら、「コイツが食えたらなあ」と 何度、海の幸を味わい損なったことか。まことに残念です。

一九七三年の夏、原発で有名な敦賀半島へ海水浴に行ったときのことでした。泳ぎながら 振り向くと、「美浜原発」が間近に見える砂浜で、ゴーグルをかけて海底を眺めていたら、何と、熱帯魚「ルリスズメ」の群が機嫌よく 泳いでいるではありませんか。熱帯の海から遙々泳いで来たりしますかいな。誰かが捨てた熱帯魚が、原発の温かい排水のお陰で冬を越したのでしよう。「原発はうす気味悪いなあ。午後から場所を変えよう」そう言つて移動した先は、岩場の多い淋しい浜でした。子供達が浅瀬で遊ぶのを監督しながら、ふと足許を見ると、茶色っぽい貝殻が幾つも散らばっています。目を凝らすと、貝殻ではなくてウニの殻でした。小ぶりで棘の短いウニを誰かが食べた跡です。「赤ウニ」や「馬糞ウニ」が食べられることを知っていたのですが、実物を見たことがなかったので、当初、これが「馬糞ウニ」だとは気付きませんでした。でも此処で人間がウニを食へたことは確かです。あたりの岩場を捜すと、同じ種類のウニを 幾つか見つけました。

殻の割り方が下手クソで、新鮮なウニには殻の欠片が混入してジャリジャリするのが嫌なのか、子供たちは(有難いことに)ほとんど食べようとしません。あんなに美味しいウニをあれほど たくさん食べたことはなかったですねえ。一九七五年のお盆休み、親孝行と 家族サービスを兼ねて淡路島の老舗旅館で数日を過ごしたことがありました。旅館の小さな船に乗って、案内された海岸で子供達は喜々として ジャブジャブ やつていきますので、家内が子供の相手をしている隙に、私はゴーグルをかけて海の底を探したのですが、何もいません。小学校六年生だった倅と二人で、少し沖合の岩まで泳ぎ着き、そこで再びゴソゴソと海底の探検をやっていたのです。



すると目の前で何本かの細い触手が一列に並んで、ニヨロニヨロ揺らいでいるではありませんか。

よく見るとアワビでした。やや 小ぶりでしたから流れ子(トコブシ)だったのかも知れません。

金突きを横から突っ込み裏返したときの悦び…。

もう無我夢中でしたから、傍らで俵が何をしていたか全く念頭になかったほどで、親として何ともお恥かしい振る舞いだったのです。

結局、岩の周りで一時間ほど潜って小さなアワビを五〜六個 獲りました。



迎えに来た小舟の船頭が、怪訝そうな表情で、

「ほう、よう獲れましたな」
褒めてくれたのかバカにされたのか…。

とにかく宿に戻り、早速、厨房に持ち込んだところ、板前さんは、

「お、これは 新しい」

と 緑色の内臓もろともぶつ切りしたのを盛りつけてくれました。

食べるのは三世代、六人でしたから分け前はほんの僅かです。

でも美味かったですねえ。腹ワタも 灰かにワカメの香りがして とても結構なお味でございました。

尚、アワビを 初めて発見したときに、ニヨロニヨロ揺らいでいたのはアワビの外套膜で、先端が何本もの触覚に分かれて、移動するときの先導役を務めるのだそうです。

*

淡路島から三年が経って、今度は小豆島へ三泊四日の「子連れ海水浴」に出かけています。

「岬の学校」の近くにあった知り合いの旅館でお世話になったあげく調子に乗って「スキューバダイビング」を宿の息子さんに おねだりしました。

免許もないのにポンペを背負い、鉛のベルトを腰に巻いて瀬戸の海底を長時間潜ったのですが、曇り空で暗かったうえ、前線が通過した直後の海は濁っていて、完全装備の潜水 初体験は、不首尾に終わったのです。

*

二晩泊まってから今度はバスで、小豆島 北岸にある国民宿舎に移動しました。こちらでも知り合いが経営している民宿でした。

あの頃は給料も安かったのでしょう、何のかんのとコネを辿って出費の少ない宿泊先を選んでいたのです。

この宿舎に隣接する砂浜には無料で乗れるボートが置いてあり、漕げば 直ぐに行ける所に、小さな島だか岩だか微妙な大きさの「島」らしきものがありました。

「岩場があるぞ。アワビがいるかも知れん」

淡路島の成功体験が頭を過ります。

家内と子供たちを乗せてボートを漕いだ私は期待に胸を膨らませて小島に上陸しました。

狭い島には誰もいません。上田一家 四人の島です。

早速 ゴーグルをかけて、海底探検を始めたのですが、食べられそうな生き物などどこにもいません。

もう陽が傾きかけたころ、幸運が訪れたのです。

やや深いところにサザエの小さいのが、二個 転がっているではありませんか。

こいつに醤油を垂らして焼けば「壺焼き」が出来ます。民宿の賄いさんに頼んで焼いてもらいました。

国民宿舎は、客を 食堂に集めて食事を出します。

普段 贅沢させていない子供達にとつて、壺焼きは初体験でしたから、小声で壺焼きの食べ方を教えなければなりません。

蓋を外して爪楊枝を刺し、回しながら 中身を抜いて見せたりして…、食堂中に壺焼きのいい匂いを漂わせ、私たちは 何の屈託もなく夕食を楽しんだのでした。

*

あくる日、宿の主が 私にボヤクではありませんか。聞けば、昨日の客の中に、

「何か特別料理はないのか」と 要望したグループがあったらしいのですが、

「ウチは民宿なので皆さん同じものを 召し上がって頂くことになっています」

とお断りしていたのに、サザエの壺焼きが食堂中にいい匂いを 撒き散らして、通り過ぎたのです。



いくら小さなサザエでも壺焼きの匂いは強烈でした。当然ながら、客は 気分を悪くします。

「特別料理、あるやないか」「いや あの その…あれは、お客さまが 沖合で獲った自前のサザエです…」

とか何とか弁解に努めて、ご納得を頂いたのだそうで、私どもは恐縮するばかりでございました。

徳島県立近代美術館企画交流室長
森 芳功の



美術の味
を
楽しむ
ための
空間

美術をたのしむ、美術館をたのしむ

その98 一人一人の感覚を大事にするデザインと美術館

香りを楽しむウエルカムスペース

徳島県立近代美術館で開催中の「暮らしの感覚ーアートと人とデザインが交流する空間」展をご紹介します（九月四日まで、担当：竹内利夫上席学芸員、亀井幸子係長）。「身近なテーマの美術作品を、居心地を工夫した様々な空間でご覧いただける」今までとはひと味違った展覧会です。

まずチケットを買って会場ロビーに入ると、香りを楽しむウエルカムスペースがあります。六つの小瓶の香りから連想する暮らしの思い出をカードに書き、パネルに貼ることができるコーナーです。「木と草花」「住まい」「食べ物飲み物」「季節と風土」など六枚の白いパネルは、色とりどりのカードで少しずつ華やかになっていきます。

目と頭に重きを置きがちな美術鑑賞に香りの要素が加わると、感性が活性化するので、楽しみが増えるのではないでしょうか。ここでは香りが暮らしの情景を思い起こすきっかけとなりますので、鑑賞のウォーミングアップになるようです。

複合的な感覚がはたらいととき、記憶は味わいを豊

かにしていきます。私は、東京や大阪の街を歩いているとき、以前訪れたヨーロッパの古い町の小さな美術館を思い出すことがあります。どこからかかすかに香る香水の仕業です。時間と場所の異なったものが突然結びつき、ふだんは気にしていない記憶のなかの風景が彩りを取り戻します。そのような香りのはたらきを一つの活性剤にして作品鑑賞をするのも興味深く感じます。

畳に座って屏風を見る

展示室に入ると、ガラスケースのなかに掛軸や屏風の作品が並び、その前には、畳を敷いた三畳ほどの小上がりがあります。靴を脱いで上がってもいいのです。目の前にあるのは広島晃甫による六曲一双屏風（鳥鷲図）（一九三四年）。私は何度も見ているはずなのですが、小上がりに座り、低くなつた視線から見ると作品の印象が変わるので少し驚きました。いつものように立って見るのときより堂々とした大きな作品に感じられたのです。

この作品は、縦が一七六センチ、横は四二二センチの屏風が対となったもので、元は東京の目黒雅叙園にあった広いお座敷で使われて

いました。畳に座った視点から見るものとして描かれた作品なのです。

屏風や掛軸が美術館のコレクションになると、本来使われていた広間や床の間から切り離され、展示室の白い壁面に飾られることになりません。そうなること、元々作品とともにあった環境や楽しみ方が失われてしまふ点があるのは致し方ありません。それを補うため、展示室に本格的な床の間などをつくらうとしても費用的に難しいのですが、今回のように仮設の台があるだけで発見が得られるのを知りました。

展覧会場のダイニングチェア

さて、「暮らしの感覚」展の大きな魅力は、会場にあるさまざまな椅子です。いつも美術館に置かれている休憩椅子ではなく、ダイニングチェアのような椅子なのです。いろいろな種類の椅子がありますので、お気に入り椅子でゆったりと過ごす人がいます。監視員さんに聞くと、半日椅子に座って見ている人がいるとのこと。ふつう美術館にある休憩椅子は見たい作品の前に置かれているとは限りません。ところが今回の展覧会では、お好みの

絵の前に椅子をもつていき、ゆっくりと鑑賞することができるのです。

来館者でよかったがえす美術館ではまず不可能な企画といえます。そうでなくても、美術館では立って見るのを強いられますので、体力がなければ長時間見学するのは難しい状況もあります。世界中似たようなところがあるらしく、海外のアーティストが、あまり行きたくないと思わない財務省の建物と美術館を重ねて語っているのを読んだことがありますが、せっかくなら来館したのに、ゆっくり作品を見ることなく、早々と帰ってしまふことになれば、作品と対話するチャンスも逃してしまいかねません。

今回の展覧会でゆつたりした気持ちになれるのは、椅子自体の魅力も関係しています。日常の感覚に合ったおしゃれたダイニングチェアが選ばれているからです。イタリアで学んだ村澤一晃さんがデザインした椅子は、丸みを帯びて見るからにやさしそうな姿をしており、「座ってみればさらに、使い込んだ古い道具のように指先と馴染む感触」があります。武蔵野美術大学教授でデザイナーの小泉誠さんによるシャープな線の椅子は、「座った体

勢をごく自然にサポートしてくる一使い心地があるといえます（竹内学芸員・同展図録原稿）。ちなみに、村澤さん、小泉さんがデザインした椅子を製作したのは、徳島の会社、宮崎椅子製作所。デザイナーとともにワークショップ形式で素材や形を検討するユニークな活動を続けています。

器に触れて絵をみる

他にも普通の展覧会とは異なる工夫があります。手で触ることのできる器がある点もそうでしょう。触覚を通して日常的な感覚を蘇らせるしかけといえます。徳島の会社SUEKI CERAMICSから協力を得て、地元鳴門市大谷の土や上葉に阿波の青石などを使ったシンプルでデザインされた焼き物が置かれています。大きさや色の違ういくつかの器を触り、普段の食卓を思い浮かべな



「暮らしの感覚」展チラシ



オープニング「アクティビティ」の様子

「暮らしの感覚」展チラシ
オープニング「アクティビティ」の様子
「暮らしの感覚」展チラシ
オープニング「アクティビティ」の様子

小泉誠さんのトークから

から、展示された絵画を眺めてみるのもいいかもしれません。器を置いた台からは、河井清一（明るい部屋）（一九六二年）なども見ることができず。涼しげな緑の風景をバックに、親子でお茶の時間を楽しむようすを描いた作品です。その隣のコーナーには、補聴器や人工内耳をつけた人がクリアーに音を聞くことができる磁気ループを設置しました。交流アクティビティなどの催しで活躍しています。

なお、器を置いた台や磁気ループのコーナーに置かれたテーブルは、屏風の前の小上がりと同じ小泉誠さんがデザインしています。

本展でも、さまざまな関連事業を行っています。そのうちのひとつ、小泉誠さんのデザイントーク「暮らしとデザインをつなげる」（七月二十三日）を聞きました。心地よいデザインについて考えさせられる内容でした。

たとえば椅子をデザインするとき、強度的には細い足で大丈夫な場合でも、安心感がほしいときは太くするといいです。違いは感覚的なものといえるのですが、心地よいデザインと効率的生産は一致しないことに気づきます。

韓国の伝統的な大工さんは、仕事ごとに独自の物差をつくり、完成したらそれを家に残して後の修理に使えるようにしているという話もありました。何メートル、何センチという

長だったといえますので、一八二・九センチと長身だったコルビジェと昔の韓国の大工さんであれば、つくられたものの長さや空間から受ける印象は異なったものとなったはず。小泉さんのレクチャーは、そのような一人一人の感覚を大切にデザインについて考えるきっかけとなりました。

お話を聞き、私はユニバーサル・ミュージアムの考え方と共通するものを感じました。一つの基準や価値観から社会をデザインするのではなく、一人一人が使いやすいよう模索する傾向は、さまざまな分野で重なっているようです。

作品を展示し観客を集める施設としてつくられている美術館には、機能として二十世紀の「大量生産大量消費」時代のイメージが強く残っています。そこからどのように新しい美術館像を生み出していくのか、世界中でさまざまな議論や試みがあるなかで、ささやかながらも今回の展覧会は、一つのチャレンジとなつていくように思います。

みなさんも試してお気に入りの椅子を探し、ゆっくりと作品をご覧ください。

リラクセスした感覚のなかから、今までにない作品との出会いが得られるかもしれません。

8月の催し

■特別展「暮らしの感覚ーアートとデザインが交流する空間」
9月4日「日」まで

- ・ 託児つきパママアワー（鑑賞ツアー）5日「金」11時〜（45分くらい） 要申込
- ・ ウェルカムツアー（学芸員によるみどころ案内）11日「木・祝」14〜15時
- ・ ベビーカーアワー（鑑賞ツアー）26日「金」11時〜（30分くらい）
- ・ 絵画と演劇のワークショップ 19日「金」・20日「土」13〜16時 要申込み（10日締切・20名先着順）フアシリテーター…わたなべ なおこ（あなざーわーくす主宰）

■所蔵作品展 2016年度第Ⅱ期「特集1 立つこと、座すこと、歩むこと」「テーマ展示 戦後徳島の美術」
・ テーマで知る名品「焼け跡からの出発」7日「日」14時〜（45分くらい）

■連携展示「阿波の道を歩く 芭蕉をめざした男 酒井弥蔵 ×現代アーティスト 大久保英治展」会場：文化の森各館 28日「日」まで（図書館は21日「日」まで）

□文化の森サマーフェスティバル アートくつろぎ広場…美術館で遊ぼう
21日「日」9時30分〜16時

※各催しについて詳しくは当館ホームページで

大河ドラマ『南海道の晴嵐』を期して(二八六)

文出水 康生

戦国おもしろ百話

物外軒・実休・三好豊前守義賢、三十七年の生死

——三好氏の家格上昇・栄典授与での三好義賢の名と相伴衆任命

三好氏研究の大展開

三好長慶と松永久秀の名誉が回復され、「下剋上の悪者・戦国の梟雄」の悪名から脱却され、正当な再評価・再認識がされる。「いつもいつも信長・秀吉家康でもあるまい、近世的世界を拓く織田信長の直前の三好長慶の時代こそ見直さねばならない」の反骨の提唱が、中近世移行期の新しい時期区分の研究によって認証される。安土・桃山文化の母胎が天文文化であることが認識され、信長の革新性・



三好実休像(妙国寺蔵)



見性寺に発祠される三好実休の位牌



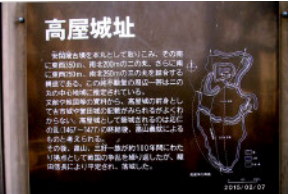
三好氏4代(之長・元長・義賢・長治)墓、見性寺本堂・庫裡



勝瑞城跡まつり武者行列(平成27年5月10日)



再々建の妙国寺本堂階前にて



河内高屋城(羽曳野市)の城跡案内

秀吉の意外性・家康の先見性の三者三様の天下人を出現させる前提に、鉄砲・キリスト教伝来・連歌・茶の湯・白壁石垣の築城の新たな文化の端緒が三好長慶の時代に醸成された。

戦国三好氏の研究を展開させたのは今谷明さんの「堺幕府論」であった。それまでの「常識」を破つての視点が与えられた。その視点と論理の学問的、批判的創造から戦国三好一族の三好氏政権の研究が「第一次史料」の発掘、利用によって大展開している。その先

鋒として牽引するのが今春に天理大学准教授に就任された天野忠幸さんである。『戦国三好政権の研究』(清文堂・二〇一〇刊・二〇一五増補版刊)、『三好長慶』(ミネルヴァ書房・二〇一四刊)、『三好一族と織田信長』(戒光祥出版・二〇一六刊)などを出版して大活躍である。その精励ぶりに大拍手をし、その恩恵を享受して感謝している。「二次史料」重視の学問的研究による旧来の二次史料による研究、常識が痛快に否定、改変されて再評価・再認識が大展開してい

る。ただ、一次史料重視が行き過ぎて、従来の郷土史・地方史の記述してきた「ぬくもり」が失われ、人名が否定されることであつて、研究図書に掲載される「系図」に混乱が生じている。科学的発掘調査、一次史料による科学的歴史研究の大展開を大いに期待すると同時に、その成果が議論されて納得される共有のものとなることを希求する。

物外軒・実休・三好豊前守義賢

三好長慶の長弟の三好義賢として、戦国天下人たる兄を三好氏の本拠である阿波国主として支えた義賢の名が一次史料に見られない、存保の義賢の堅の字の下半に花押が重なり、賢の字に誤写されたもの、とされる。それで入道名の実休の名で三好実休として記述されるようになってくる。筆者も山上宗二に「武

士にして数奇者」と最大の評価をされる茶人三好実休として、主君の細川持隆を弑逆・下剋上の三好義賢の名より再評価のために良いか、と軽く考えていた。しかし、一次史料には見られないのに、何故に数知れず手にする「系図」に全て義賢と記載されるのだろうか。三好氏の「通字」として使用されない義の字を義賢として使用するのは、長慶が修理大夫、相伴衆とされ、長慶の嫡子の孫次郎が將軍足利義輝からその偏諱の義を与えられ義長から義興を

名乗り、御相伴衆に列せられ、「三好亭御成」が実現され、その後阿波国主の長慶の弟が続いて相伴衆に任じられる時に義輝の偏諱が与えられて三好義賢を名乗る、とすると三好氏への格別の家格上昇と栄典授与の帰結として大団円となる。当時の状況と論理的には考えられるので、一次史料

に見られないではなく、その証拠を期待したい。それで物外軒・実休・三好豊前守義賢の三十七年の生死の全体的再評価・再認識がされる。三好義賢は三好元長の次男、幼名は千満丸、仮名は彦次郎、実名は之相、之虎、そして義賢。実休、物外軒と号した。官途は豊前守。二五・二六もしくは二七から一五六。

三好長慶会の活動

学問的な研究成果を習得することをY軸とし市民運動のバイタリティーをX軸として、その第一象限で++で最大限の学習・市民活動をする。三好長慶会は平成十二・九・九九年七月十二日に六人で結成され、現在会員は三九人。その活動の詳細は『三好長慶会五周年記念誌』(二〇三・八刊)を参照して欲しいが、名利を越えた異能集団の活動として同志が共々に活動を展開し、戦国三好氏の歴史的な再検討・再認識の市民運動を展開している。その運動の中で画期的であったのは第二回国国民文化祭徳島大会(二〇〇七年)への『戦国三好フェスティバル』での参加である。県民参加の募集に応じ、「優秀賞」(五〇万円)を授与され、その「紋どころ」をもって反骨た

くましく独創的な企画で「戦国三好一族旗揚げパレード、シンポジウム、講演会、戦国三好お宝資料展、戦国三好全国集会」の四本立てで、異能集団としての四六〇余人が同志として名利を越えてのボランティア精神で協力、実行した。通常のマニュアルでの換算なら助成金の数十倍、との豪語を可能とする豪華なものが実現できた。その国民文化祭を機に激論・協調しながら

画期的な『戦国天下人三好長慶、えつ?阿波踊り』のパンフレットを発刊した。そのパンフレット、戦国三好フェスティバルを企画・立案したのは、三好長慶会結成以来に曲折はあつても共生してきた昭和十八年に生まれ、その名の通りに反骨で生きた東條英機時の東條英機首相に倣う(さん)と筆者であった。この小稿のテーマも、ヤフーオークションで落札した『三好長慶書札』『源姓三好之系図』、金象嵌された「海部泰吉」の銘刀などを手にしての議論・探求の結果を研究例会に東條さんが会員に報告したものを筆者の文責で報告する。なお、国民文化祭のシンポ・講演講師は天野忠幸さんで、当時は大阪市立大学の仁木宏門下として三好氏研究に精励する未

だ無任所の新進気鋭の研究であった。先見性を持って、先物買いをし、共生・共存・共栄共楽…を、とする。

三好氏の河内・大和への進出

戦国三好氏の本拠は阿波で、小笠原氏が三好の地名を名乗つて三好氏を称し、応仁文明の乱から大坂の陣までの

中近世移行期に三好之長・長秀・元長・長慶・義興の五代が活躍し、阿波・讃岐・淡路(A S Aトライアングル)を本拠として京畿・堺に進出して三好長慶が信長の直前に戦国天下人となる。長慶が父祖の畿内での基盤を継承して三好本宗家としての家臣団を形成して將軍を必要としない新たな政治秩序を形成する。その位置関係から環大坂湾政権と称される。その政権の中心が五三三年から六〇年には芥川山城(高槻市)で、六〇年から飯盛山城(大東市)四糸畷市とされる。將軍足利義輝を近江に追放して、將軍を必要としない政権を形成し、將軍を疎外しての長慶による永祿改元に危機感を持った義輝が京都帰還を図り、それが和睦によつて実現される。五五八年十月以来に三好長慶の河内・大和への進出が松永

久秀を先鋒として凶られ、畠山高政が守護であった河内を支配下に置き、三好長慶が永祿三(二五六〇)年十月二十四日に飯盛山城、十月二十七日に三好実休(永祿元年)入道が高屋城に入り「阿波国主・河内国主」となる。長慶が嫡子義興に家督、芥川山城を譲つて飯盛山城で政治する。

三好氏の家格上昇と 栄典授与

長慶は義輝將軍を近江に追放する三五三三年には御供衆に任じられ、位階も將軍足利義輝や旧主細川晴元、細川氏綱と並ぶ従四位下・筑前守であった。それで天下人であつたが、その間に昇進することとはなかつた。將軍義輝との和睦の後の永祿三(二五五九)年から四年にかけて集中的に栄典授与が行われる。二年十二月に嫡子孫次郎に義輝から義の字を直筆で与えられ、義長を名乗る。三年正月に長慶は相伴衆・桐紋拝領、義長は筑前守に任官する。正月二十七日の正親町天皇即位式の警固をし費用百貫負担の父子に天皇から天盃・御剣下賜。二月に義長と松永久秀が御供衆に加えられ、久秀が弾正少弼に任じられた。九月に重臣の三好長逸が従四位下

に。四年の正月に義長義興と改名が従四位下、相伴衆(藤原久秀も従四位下、相伴衆とされる。二月に義興と久秀に桐紋拝領。二十三日に義興が鹿苑寺で將軍と出合い酒を振るまわれる。その返礼を奉行人に勧められ、相伴衆就任・従四位下叙任・桐紋拝領に対する將軍への返礼とされるが、三月三十日に『三好亭御成記』に記録されるような未曾有にしての破格の足利將軍の三好邸へのお成りが実現し豪華な饗応がされた。この饗応には三好実休・安宅冬康十河一存の兄弟は参加してないが、茶人の実休の所持する三日月葉茶壺・実休肩御など座敷飾りとされていた。

この將軍の三好亭御成りの後の閏三月十九日に義輝將軍は高屋城の三好実休を相伴衆に任命する。二十一日に伊勢貞孝・向貞助が使者として出向き、三好長慶・細川藤賢氏綱の弟が同行して祝福したとされる。この時に三好義賢の名が、義輝の義と藤賢の賢とで命名された、として以後の全ての系図に記録されたとする。三好氏の永祿四年三月における威勢とその中に物外軒・実休・三好豊前守義賢を位置付ける。「戦国ロマン」を求めての「小説歴史」。

大河ドラマ『南海道の晴嵐』を期して(二七七)

文出水 康生

戦国おもしろ百話

江戸幕府旗本三好越後守家の伝家の宝刀と系図を手に

——三好三人衆、釣閑斎宗謂三好下野守と為三好因幡守任

事実は小説より奇なり

一期一会の出会いの不思議を共楽しながら四五〇年の昔と今を探索して無知の知を楽しむ。今、ここに江戸幕府の旗本として戦国三好一族から存続する三好越後守家の伝家の宝刀とされた海部泰吉の名刀とその系図を手にする。その金象嵌に「本作海部泰吉也於泉州面鑑武者切落依是三好越後守為重代調法者也」「雅」と刻まれている。この刻銘の事実は「系



海部泰吉の金象嵌銘、雅(東條英機蔵)



海部泰吉の刃紋



久米田合戦での三好実休戦歿地碑(岸和田市久米田)



湯川直光の碑(八尾市・教興寺)

図」によると宗三息一人三好下野守同為三兄下野守子これ無きに付家督す為三十三六歳の時根来ヨリ飯盛の城取巻き其の時湯川上野と言一方の大將と相戦ひ痕を蒙ると雖も上野を討取り付ては三好筑前より證文を取りり同姓備前守手前に今にこれ在り」である。

功により三好長慶より証文(感状)を得て、江口の合戦(五四九)以来に敵対していた三好為三(宗三の子)が三好一族に復帰して長慶の死後に三好三人衆とされる三好下野守の家督を為三が継ぐ出発となる。

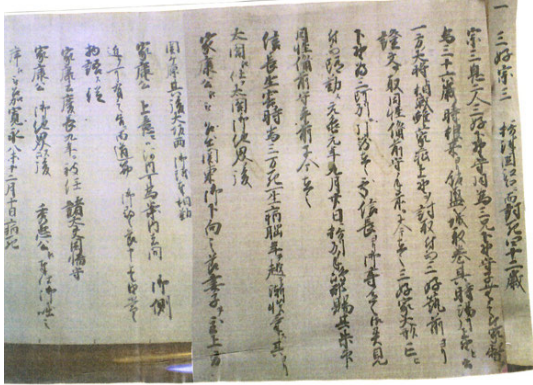
教興寺合戦は永禄五(二五六年)五月二〇日に、その三月五日の久米田の合戦で河内・紀伊の畠山高政・根来衆軍に実休三好豊前守義賢軍が敗北し、義賢が根来衆の鉄砲に撃たれて討ち死にし

て三好氏の衰亡の一因となった雪辱戦であった。飯盛山城に籠城した三好長慶を攻囲する畠山・湯川軍を飯盛山城からの長慶の指揮で、家督を譲った芥川山城の三好義興と六角勢に対していた松永弾正小彌久秀軍を結集させた。さらに久米田合戦で敗北して、その退陣が困難であったことから「久米田の退き口」と後々まで伝承され、その敗北を恥じて参陣していた武將がすべて入道して阿波の武將は坊主頭ばかりとなった因縁の合戦の雪辱のために阿波勢が出陣する。三好康長は笑巖、篠原長房は紫雲、二宮成助は卜閑などのように坊主頭に甲冑を着けて奮戦する。教興寺合戦では長慶と久秀による畠山湯川軍への調略が冴えわたり、畠山勢に疑心暗鬼の相互不信が広がり、高屋城から紀州勢が脱出して高野街道を南下した。その紀伊奥郡の国人衆、根来衆に打ちかかり、双方に戦死戦傷者多数の激戦の中で湯川上野守直光が為三に打ち取られた。「湯川直光公勇戦の地」の碑が教興寺境内に建立され、「三好実休戦歿地」の碑が久米田に大正十年に建立されている。

釣閑斎宗謂三好下野守政康

この人物が三好長慶の死後に三好日向守長逸と石成主税介友通と共に三好三人衆として永禄八年五月十九日の將軍足利義輝の弑逆、松永久秀勢との三好勢分裂による抗争、織田信長の上洛後の本圀寺逆襲、野田・福島合戦などを主導する。ただ政康の名は「次史料には見

られず系図上での政生や宗謂の弟とされる政勝は禁制の花押が同一であることから宗謂・政生・政勝は同一人物とされ、宗謂の実名は政勝↓政生↓宗謂と変わり、宗謂の弟の為三の実名を政勝として点も誤りと三好宗謂の確定考証を天野忠幸さんがしている。手にする系図にも「三好下野守、法名釣閑於阿州病死。三好為三任、兄下野守家督養子後因幡守病死。三好越後守可正、後号因幡守病死」と書かれ下野守の実名が記録されていない。釣閑斎・宗謂三好下野守(政康)は文武に秀れ、刀剣目利きとして三好一族の多数の名刀所持に功績が知られ、国宝とさ



三好越後守家系図前書(部分)

れる大般若長光を手にし般若若経六百巻にならつて六〇〇貫(約六〇〇万円)とされたと言う。その目利き・鑑定力によつて弟の為三の湯川直光討ち取りの太刀を「三好為三大手柄の太刀」として馴染みの本阿弥家刀剣研磨師の家に注文して太刀を刀に磨り上げて、その由来を示す金象嵌銘を入れさせ為三の子の三好越後守家の伝家の宝刀とした。

なお、この金象嵌銘と軌を一にする天下人のステータスシンボルとされる名物が、下野守為三の父の宗三三好越前寺政長が所持していた「宗三左文字」である。三好政長が細川晴元を支持して長慶に敵対しての江口の合戦の時に佩刀としていて、その合戦で戦死の後に武田信玄に追放されていた武田信虎が手中にし、娘が嫁入りしていた今川義元に「簪引出物」として贈り、義元はそれを愛刀として桶狭間合戦の時に佩刀していた。信

長がその刀に「永禄三年五月十九日、義元討捕刻彼所持刀、織田信長」と金象嵌して「義元左文字」と称して所持した。それが本能

寺の時に焼身となつたが秀吉が焼直させて所持して秀頼に継承され、秀頼から徳川家康に贈り、家康は大坂の陣の時に佩刀していた。それ以後に「徳川御物」として明治まで秘蔵した。織田信長の顕彰のために建勲神社が京の船岡山に建立された時に奉納された。現在は国立京都博物館に寄託されている。

海部泰吉の銘刀

海部氏吉泰吉の父が鍛えた「岩切り海部」の名の名刀が福岡県重文として現存し、三好長慶が佩刀として歴戦を戦い戦国天下人となった。氏吉を父とする泰吉が鍛えた名刀が「鎧切り海部雅」とされる。その名刀を日本美術刀剣保存協会徳島支部長東條英機さんが入手された。びつくりの新発見であり、四〇

〇余年を経ての今に系図と銘刀の組合せで何物にも優る自己主張をし、その威光に圧倒される。「海部泰吉作(金象嵌銘)、室町時代後期(大永頃)。鑄造、庵棟、身幅尋常、重ね薄く、磨上て反り浅く、中鋒やや延びる。鍛は小板目肌つみ、流れ肌交じり、地沸微塵につき、

鉄冴える。刀紋は、のたれに互の目交じり、足、匂深く、匂口明るい。帽子は乱れ込んで小丸、深く返る。茎は大磨上、先切、鑢目切、目釘孔、ハバキは金鍍金重。沸匂深く、匂口明るく冴え、頗る出来が優れ、号の通り「雅」な一振りである。金象嵌銘が非常に興味深く、海部派の祖氏吉の子泰吉の作で三好越後守重代重宝」とされる。

為三三好因幡守二任

この人物が江戸時代からの講談を承けての『立川文庫』の「真田十勇士」の三好為三入道、兄の釣閑斎・宗謂三好下野守が三好清海入道のモデルとされた。今年の大河ドラマ「真田丸」に関連するものとして興味深い。

為三三好因幡守一任を父とする三好越後守可正を祖とする歴代の事跡が江戸幕府に弘化三二八四六年に可正から九代目の三好大膳長済によつて報告されている。三好大膳は報告当時には十人頭であった。

この「先祖書」の前書きにこれまで書いたような記録がされている。釣閑斎宗謂三好下野守政康が三好三人衆とし

て活躍し、その身につけた刀剣目利きの鑑定力と熱意が知られ、大鼓の名手としても演能の時に指名され、本圀寺攻めの時に退路を塞がれた危機をその技能の縁で救われ、茶事にも長じていたと言われる。野田福島合戦後に兄弟が阿波に隠退していた時に兄が病死したものとされ、為三が織田信長に尋ね出され、信長から摂津豊島郡で朱印による死行があり、本能寺の変の時には万死に一生を得て逃れ、病癒の後に快気して豊臣秀吉に仕え、秀吉の死後に徳川家康に召出され、関ヶ原合戦、冬夏の大坂の役の時に家康の側近として河内の道案内をし、慶長九二六〇四年に諸大夫因幡守に任ぜられ、家康の死後には秀忠に御咄衆として仕え、寛永八二六三二年十二月十日病死したとされる。享年は二五六二年に系図の「為三十六歳の時……」の記載を十六歳と読むと八十五歳、三十六歳と読むと二〇〇五歳での病死となる。二〇〇〇〜三〇〇〇石の旗本として存続する。

こんな「事実」は小説よりも奇なり」の生涯を戦国三好一族の興亡の中で生きて死んだ。

還暦・古希・喜寿そして
傘寿談議
文・写真 (株)地域サービス顧問
永井 英彰

俎上の「地域」をどうするか
撫養新農研会員が会社引き継ぐ

撫養新農業研究会(岡部晃司、野田靖之共同代表)は県内外から会員60名以上を集め毎月最終週の木曜日に鳴門市・井上ホールで研究会を開いている。

6月の会合で野田代表が(株)地域サービスの25年間の実績と継承予定者、継承後の会社店舗の有効利用の仕方などについて説明した。社長の筆者にも一言をとの事だったので次のように話した。「私は俎上の鯉のようなもので、胸を張る立場にない。年が明ければ満80歳となるため、いくら元気で後継者を決めずに社長を続けることは無責任だと考えた。公開で後継者を決めるとは聞いたことが無いが、若し、今回の継承が上手く行ったら、小規模企業や農地の継承にも応用できるのでないか。決まれば、私も当分の間会社に関与し後継者が軌道に乗ることを見守りたい。」

一人会社、決断早い

筆者は一昨年、後継者にした弟俊彰に急死されて再度社長に復帰した。そこで昨年秋、株式を筆者一人に集め、資本金を2000万円から2500万円に増資、合わせて300万円に減資した。目的の一つは会社に対しても貸付金を減らす事、一人会社にする。と株主が一人で良く、監査役が不要な上、向こう10年間、取締役会等を開催する必要もないというメリットがある。この手続に40万円以上の費用を要したが、会社をシンプルに整理してあつ

たため、今回の交渉では即断即決できる。

経理は6月末現在まで筆者の責任で、その後は後継者の責任と決めた。会社は借地の上に家屋を建てているため法定地上権を持つ。家屋の一部や駐車場を貸しているので、6月分までは筆者が処理、7月部以降分として預かった金銭は後継者に残した。

依頼は無かつた事に

7月11日、豪雨の中を旧知の司法書士事務所を関係者が訪問、用件を告げたが準備書類の書き方の説明が判りにくい。そして翌日、断

りの電話があつた。つまり、一人会社の制度はまだ新しく扱ったことがないのだった。そこで、一人会社を作ってもらった徳島市東出来島町、南司法書士事務所へ依頼した。実印と各自の印鑑証明書、会社の登記簿謄本、定款、会社の実印などを持参するようにとの事で、訪問後1時間余で事務処理ができた。旧知の司法書士に花を持たせるつもりが、恥をかかせたようでも申し訳なかつた。

筆者は将来いづれかの時点で店舗の家屋を撤去して地主へ土地を返す日も来ると考え、撤去費用も見積もってもらったら150万円ほど掛かる事が判つた。今回、承継者が現れたことでその必要は無くなり、少しは資金回収もできた。きつちりと終活ができたことに心から感謝している。できることなら、承継者のもとで(株)地域サービスが新たな発展を遂げ

て欲しい。

日野皓正ライブ

代表取締役退任登記を申請した7月13日夜、北島町創生ホールで日野皓正ライブが開かれ、妻と同伴で



地域サービスの外側(上)と内側(下)



日野皓正のライブ(飛び入りも)



ライブの後サイン会(左端が日野皓正)

健康な狭庭

筆者の家庭は40年来、家庭から出る生ゴミは匂いが出る期間だけコンポサーに入れるが、そうでなければ庭に穴を掘ってそこに入れる。つまりは昔の「掃き溜め」である。それだけでなく、植木の選定をした時に出る落ち葉や小枝も塵収集に出すのでなく、木の根元に被せたり小山に積んだりしている。毎年、土地が肥えて、トマトやシン

は地場生えで勝手に育つし、一度植えたイチゴは蔓を伸ばして不揃いながら実を食べさせてくれている。メリットは生ごみを出さないので、塵袋をカラスが突く事も無く、落ち葉や小枝がマルチとなり雑草を抑えてくれ土地も肥やしてくる。引いては北島町のごみ焼却量を少しでも減らす事になっていれば幸いである。

若しかしたら、私達が進めている「剣山系の循環型農業」も、地場で生えるカヤを敷き込み農業をするのだから、筆者がやっていることと同じ考えで、昔からやっているのかも知れない。

些細な事ですが

その① 枯れたバラを剪定して親指に枯れた棘が刺さった。毛抜きで抜こうとしたがどうしても取れない。消毒だけして放ってお



庭の恵みトマトとモモ(左端)



庭に珍しいトンボ(7月中旬)



都市計画の勉強会(中央が香川宜子さん)



平成宮の酒造用井戸



コケ庭が美しい秋篠寺本堂(国宝)



喜光寺の本堂(重文)

たところ、周囲の皮膚が盛り上がり棘をひっくるめてポロリと取れた。人の治療力とは素晴らしいと実感した。

その② 昨年、ツバメがガレージの天井の真ん中に巣を作りかけた。糞を落とされたらたまらないので、入り口を閉めた。数日して開けたら、今度は側壁に巣を作った。こ

こは邪魔にならないので見守っていたら、5羽が無事に育ち巣立つて行った。今年も昨年の巣を再利用して同じく5羽が巣立った。ガレージの中ならカラスに襲われることも無く安全なのだろう。天井が駄目で、側壁ならOKかどうかとして判ったのだろうか。

その③ 4月末、剣山系関連のイルチ会合に出席した時、東京・大井町のホテルに泊まった。朝食のためエレベーターに乗ったところ、途中から勤め人と老夫婦が乗ってきた。勤め人は我先に下り

たが、老夫婦は筆者に先に降りよと勧める。ご遠慮なくと夫婦を先に降りてもらった。バイキングの食堂でも一緒になり、味噌汁を先に入れた老女が、それを筆者に渡してくれた。お礼を言ったが、そのみそ汁は何とも美味かったし、1日中元気だった。

その④ 6月21日、(株)ストライクがマザーズに上場した。公募価格は3440円だったが、初日は値が付かず翌日やっと6720円で引けた。この会社は中小企業の売買であるM&A仲介を業とする。会社が産声を上げ最初の講演会を札幌で開催したが、講師の一人が筆者だった。

日刊工業社の紹介で、(株)エヌテック(鳴門市)の会社継承について問題点などを話して欲しいという事だった。メールで上場の案内を受けたので、直ぐに荒井邦彦社長へお祝いの返信を送った。

その⑤

7月2日、徳島市国府町の喫茶店マイセンで「日本からあわストリー」が始まります」の著者・香川宜子医師と会った。香川医師が数年前に発案、経産省がプ

奈良へ研修旅行

6月18日、四国大学生涯学習センターの企画で、講座の受講生が大型バス2台で奈良へ研修旅行に出掛けた。最初は遷都1300年祭で行ったことのある平城宮。都が置かれた710〜長岡宮に都が移るまでの75年間を奈良時代という。日本庭

園の最初と言われる東院庭園見学から両親が徳島出身というガイドの説明を受け、大極殿、朱雀門、遺構展示館を歩いて回った。朱雀門前にあった工場はほぼ移転していた。

次は奈良市街地の北西にある秋篠寺。土師氏の末裔は菅原、秋篠両氏だが、ここは秋篠氏の氏寺とも言われている。2006年、長男悠仁様が誕生した秋篠宮家もここから名前を採ったようで、天皇家とも関連が深い。国宝の本殿は鎌倉時代の建立で、当時の和様仏堂の代表作の一つで、正面5間、側面4間あり、屋根は寄棟造、本瓦葺き。堂内には重文の本尊薬師三尊像が安置されている。

最後は奈良の都のほぼ中央にある喜光寺。養老5(721)年、行基菩薩によって創建され、古くは道真公にちなみ「菅原寺」と呼ばれていた。現存の本堂(重文)は室町時代に再建されたものだが、裳階(もこし)を付けた美しい復古建築。本尊は丈六の阿弥陀如来。境内に200鉢ある蓮が色付きかけていた。毎度のことながら、7回の講義の後で行く研修旅行は贅沢の極みだと感謝している。

TOPICS

洗濯機がなくなる？

忙しくて毎日洗濯しているヒマがない…そんな人に朗報です。近い将来、洗濯機を使わなくても日に当てるだけで衣服を洗濯できるようになるかもしれません。



オーストラリアの「RIMIT」では、水や石鹼を使わなくても、太陽光など光を当てるだけで簡単に汚れが落ちる特殊な繊維を開発中です。この繊維はナノテクノロジーを用いて製造されていて、光を当てるだけで汚れを簡単に落とすことができます。

繊維にはナノテクノロジーが用いられていて、汚れを分解し、繊維から素早く排除することを可能にしています。調味料やアルコール飲料など、洗濯機でも汚れが落ちにくいものであっても、この繊維ならほぼ完全に除去できるかもしれないと期待されています。洗濯機で洗濯を繰り返すと衣服はだんだん傷んでいきますが、この特殊な繊維を使うことによって、散歩するだけでずっと新品同様に着続けることができるようになります。

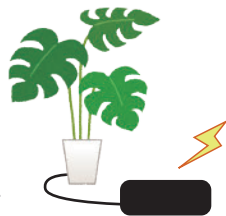
衣服だけでなく、靴にも応用されるなど利用が広がっていくにつれて、アパレルやファッション業界に激変が訪れるかもしれません。

TOPICS

究極のエコロジー

観葉植物の光合成を利用することで、発電を可能にする発電装置「Bioo Lite」が注目を集めています。

発電可能な電力は小さいですがスマートフォンやタブレット程度なら充電が可能になります。光合成が出来ればいいので、どんな種類でも利用できます。自分が好きな観葉植物を育てながら充電ができるので、多数の利用者が見込まれています。実際にクラウドファンディングですぐに目標額が達成されました。



「Bioo Lite」の内部にはバイオマス床があり、そこで植物が光合成を行う事で根から輩出する物質を、微生物が摂取することで電子が放出されます。その放出された電子を装置の電極が回収し、電力に変換するという仕組みになっています。リアルタイムで電力に変換するわけではないので、夜間でも充電することが可能です。

「Bioo Lite」による発電は、植物にも環境にも負荷をかけることがないクリーンなエネルギーなので、モバイルの利用者が増え続けている現在、早い開発が期待されています。

編集長の

四方山後記

よもやま



機械に負けないスキル

近年、人工知能が爆発的な勢いで進化を続けています。機械と言え、一昔前にイメージされるのは工場の作業用ロボットでしたが、今ではソフトバンクの Pepper のような接客用のロボットまで登場するようになりました。東洋で初めて誕生したロボット「學天則」は単純な動きしかできませんでしたが、今のロボットは人工知能が搭載され、感情の制御まで行なえるようになりつつあります。自動化のテクノロジーの流れはそのまま止まらずに、いずれは人間の

仕事がロボットに奪われるという人工知能への脅威が叫ばれています。このままロボットが進化を続けると、そう遠くない未来では、様々な仕事をロボットが担うようになっていきます。販売員や会計士、セールスマン、さらには料理人や運転手など多岐に渡りますが、中には人間のスキルが必要な仕事も存在します。どれだけ人工知能が進化しても人間が機械に負けることのないスキルとは「クリエイティブ」「リーダーシップ」「起業家」です。0から作り出すクリエイティブや、卓越したコミュニケーション能力の必要なりーダーシップ

プなどは、機械が代行できないものであり、機械は起業も行いません。こういった人と人のつながりが必要な仕事や、導いていく仕事、アイデアを出していく仕事などが、機械に代替されないスキルになっていきます。機械がほとんどの仕事を行うようになってから新たに創出される仕事の7割は、前述のスキルが必要な「人間的な仕事」だと言われています。人に共感したり、人とコミュニケーションをしたり、文化や芸術を理解するような、人工知能には再現の難しい「人間らしさ」を磨いていくことが大切です。

徳島エコノミージャーナル



第26巻 第11号 No. 442 平成28年8月1日発行

【発行人】松本美穂

【編集】松本康平、中村あゆみ

【デザイン】庄野文子

【発行所】(株)プレーンバンク

【本社】〒776-0013 徳島県吉野川市鴨島町上下島440

Tel.0883-22-0883 Fax.0883-22-1505

E-Mail:ecoja@jctv.ne.jp



今月の娯録



書と画 四宮生重郎

昭和3年、徳島市生まれ。
言わずと知れた、阿波踊りの名手。
この3月で数え年88歳。米寿のお
祝いを迎え、気力もますます充実。



夕暮れの お盆のときめき 阿波おどり
踊る阿呆に 恋をする

<阿呆の介 提言>

情緒ある街角は、阿波おどりを引き立てる。

未来を見据えた街づくりを考えよう。

- ・美しい景観のお洒落な田舎町
- ・空海ゆかりの遍路町
- ・蜂須賀公の城下町

そんな「功德の島」を創造しよう。



八月

平成28年・2016年

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水